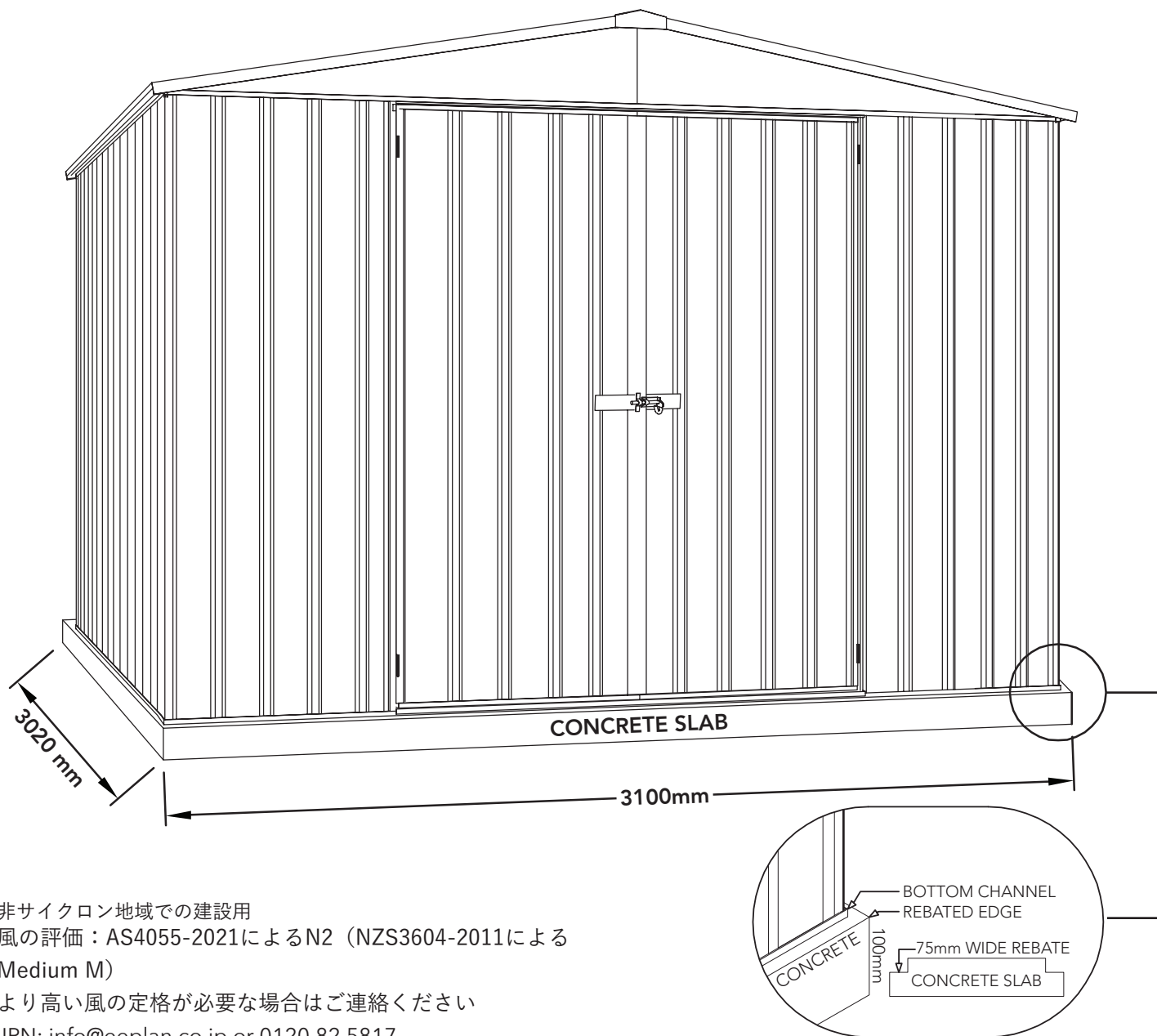




非サイクロン地域での建設用

風の評価：AS4055-2021によるN2（NZS3604-2011によるMedium M）

より高い風の定格が必要な場合はご連絡ください

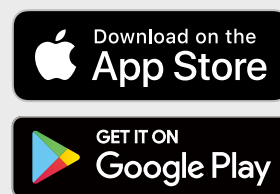
JPN: info@eeplan.co.jp or 0120 82 5817

注：サイクロンキットを追加すると、この小屋の風の定格をAS4055-2021によるC1（NZS3604-2011によるVery High VH）にアップグレードできます。

コンクリートスラブを敷設するときは、周囲に25mmの深さのリベートエッジがあることを確認します。これは、小屋の底から水が出るのを助けます。



指導ビデオについては、Absco Sheds Assemblyアプリをダウンロードしてください



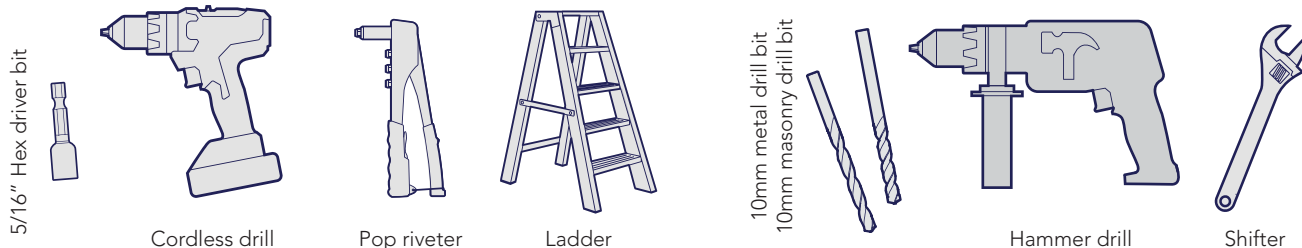
一般的な手順

- アセンブリを開始する前に、これらの指示を詳細に読んで、アセンブリの方法と関連する詳細を完全に理解してください。
- カートンを開梱し、「部品梱包リスト」ページで説明および図解されている部品と照らし合わせて、すべての部品を慎重に識別して確認します。
- 小屋を建設する前に、地方自治体の承認を得る必要があります。場所を選択したら、地方自治体に配置図を提出する必要があります。

サイトの準備

- 小屋の場所は水平でなければなりません。表面が平らでないと、部品の位置がずれることがあります。
- 小屋は、鉄筋コンクリートスラブの上に建てられ、「最終構造」ページに適切に示されているように固定されます。リベート付きのスラブを使用する場合は、フレームの支柱をすべて25mmカットしてください。

必要なツール



安全上の注意

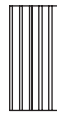
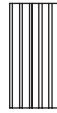
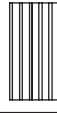
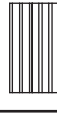
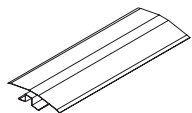
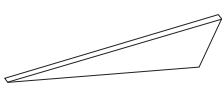
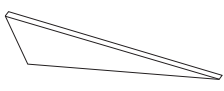
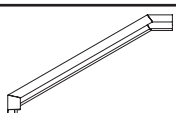
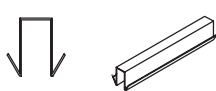
- 一部の部品には鋭いエッジがある場合があります。これらのアイテムを扱うときは手袋を着用し、穴を開ける場合は安全メガネを着用することをお勧めします。丈夫な靴を強くお勧めします。
- 風の強い環境で小屋を建てないでください。
- 2人以上で小屋を建てることを強くお勧めします。
- 小屋の屋根に座ったり、立ったり、歩いたりしないでください。

推奨



COMPONENT PACKING LIST

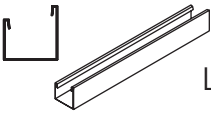
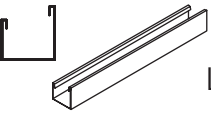
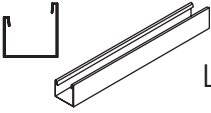
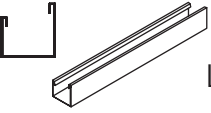
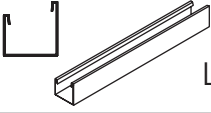
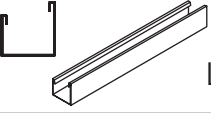
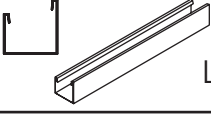
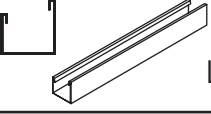
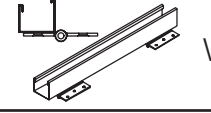
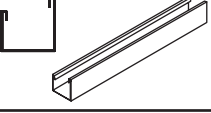
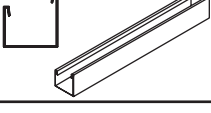
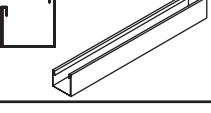
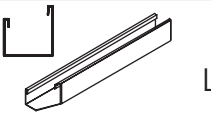
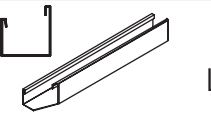
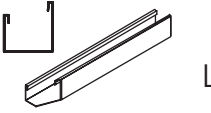
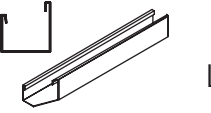
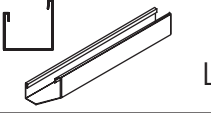
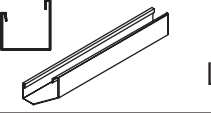
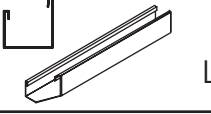
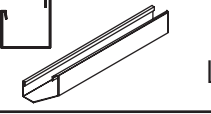
Check off all components.

MAIN PACK CARTON (PACK 1 OF 2)							
QTY	COMPONENT DESCRIPTION	PART NO.	CHK	QTY	COMPONENT DESCRIPTION	PART NO.	CHK
2	 STEEL SHEET 2034 x 773 mm	H30		6	 STEEL SHEET 2034 x 773 mm	H31	
4	 STEEL SHEET 2034 x 731 mm	HRC		2	 STEEL SHEET 2034 x 711 mm	H34	
1	 STEEL SHEET 1974 x 773 mm	F		1	 STEEL SHEET 1974 x 773 mm	E	
2	 STEEL SHEET 1546 x 773 mm	44L		2	 STEEL SHEET 1546 x 773 mm	44R	
4	 STEEL SHEET 1546 x 773 mm	45A		2	 RIDGE BEAM L = 1521 mm	97A L/R	
2	 GABLE L/H L = 1475 mm	16L		2	 GABLE R/H L 1475 mm	16R	
2	 BRACE L = 393 mm	13A		1	 RIDGE BEAM JOINER L = 450 mm	ZARSP	

Nominal sheet widths are shown. +/- 2mm is within tolerance.

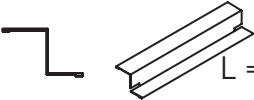
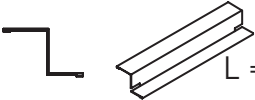
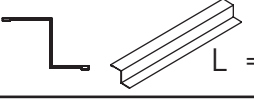
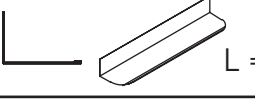
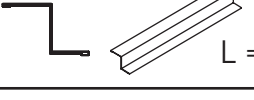
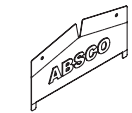
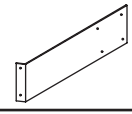
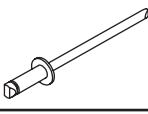
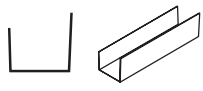
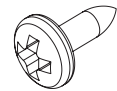
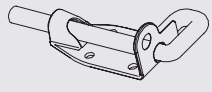
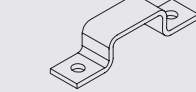
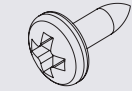
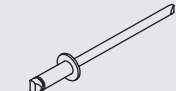
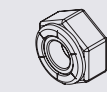
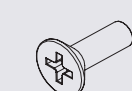
COMPONENT PACKING LIST

Check off all components.

CHANNEL SET							
QTY	COMPONENT DESCRIPTION	PART NO.	CHK	QTY	COMPONENT DESCRIPTION	PART NO.	CHK
2	 CHANNEL L = 1496.5mm	81AL		2	 CHANNEL L = 1496.5mm	81AR	
2	 CHANNEL L = 1496.5mm	78AL		2	 CHANNEL L = 1496.5mm	78AR	
2	 CHANNEL L = 1459.5mm	81GL		2	 CHANNEL L = 1459.5mm	81GR	
2	 CHANNEL L = 1459.5mm	59AL		2	 CHANNEL L = 1459.5mm	59AR	
2	 CHANNEL WITH HINGES L = 1974mm	HC1		1	 CHANNEL L = 1974mm	HC2	
4	 CHANNEL L = 773mm	58C		1	 CHANNEL L = 1568mm	79A	
NOTCHED CHANNEL							
1	 CHANNEL L = 1496.5mm	81BL		1	 CHANNEL L = 1496.5mm	81BR	
1	 CHANNEL L = 1496.5mm	55CL		1	 CHANNEL L = 1496.5mm	55CR	
1	 CHANNEL L = 1496.5mm	77AL		1	 CHANNEL L = 1496.5mm	77AR	
1	 CHANNEL L = 1496.5mm	77BL		1	 CHANNEL L = 1496.5mm	77BR	

COMPONENT PACKING LIST

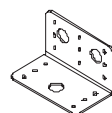
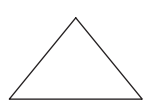
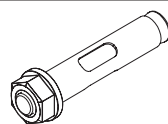
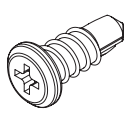
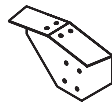
Check off all components.

QTY	COMPONENT DESCRIPTION	PART NO.	CHK	QTY	COMPONENT DESCRIPTION	PART NO.	CHK
1	 JAMB L = 1568 mm	90A		1	 JAMB L = 1974 mm	HJ3	
4	 JAMB L = 1120 mm	91A		4	 LIP TRIM L = 1546 mm	87B	
2	 JAMB L = 2034 mm	HJ1					
INSTRUCTION & FITTINGS PACK							
2	 CAP GABLE L = 170 mm	14A		10	 HEX HD TEK SCREW W/ NEO WASHER 10-16x 16 mm	FAST 033	
2	 DOOR STRAP L = 165 mm	12A		6	 3.2 x 8 mm BLIND POP RIVET	FAST 009	
12	 CHANNEL JOINER L = 200 mm	CSJ		1	 8G x 3/8" SELF TAPPING SCREW 100 x FAST001	PACK 100	
1	DOUBLE DOOR FITTINGS PACK	PSTK DBL					
PSTKDBL - DOUBLE DOOR FITTINGS PACK							
3	 DOOR PADBOLT	FAST 006		2	 PADBOLT HASP	FAST 007	
1	 3 mm DRILL BIT	DRILL		1	 PHILLIPS DRIVER BIT	FAST 038	
1	 8G x 3/8" SELF TAPPING SCREW 220 x FAST001	PACK 220		12	 3.2 x 8 mm POP RIVET	FAST 009	
8	 3/16" ROUND HEAD BOLT	FAST 002		8	 3/16" NYLOC NUT	FAST 003	
12	 3/16" COUNTER SUNK SCREW	FAST 004		12	 3/16" NUT	FAST 005	

Nominal sheet widths are shown. +/- 2mm is within tolerance.

COMPONENT PACKING LIST

Check off all components.

HIGH FRONT FRAME PACK							
QTY	COMPONENT DESCRIPTION	PART NO.	CHK	QTY	COMPONENT DESCRIPTION	PART NO.	CHK
2	 FRAME L = 2300 mm	C2300		10	 FRAME L = 285 mm	K0285	
2	 FRAME L = 2070 mm	N2070		2	 FRAME L = 240 mm	C0240	
2	 FRAME L = 2034 mm	C2034		2	 FRAME L = 100 mm	C0100	
2	 FRAME L = 1484 mm	M1484		1	HFF FITTINGS PACK SEE BELOW		
HIGH FRONT FRAME FITTINGS PACK							
10	 MULTI PURPOSE BRACKET	BKT17		1	 SMALL TRIANGULAR PLATE	ZACO 190	
6	 10 x 50 mm DYNABOLT	FAST 015		1	 16 mm WAFER HD TEK SCREWS 150 x FAST014	PACK WAFER 150	
1	 RIDGE PLATE RBP	ZACO 9A					

Nominal sheet widths are shown. +/- 2mm is within tolerance.

SNAP-TiTE ASSEMBLY GUIDE

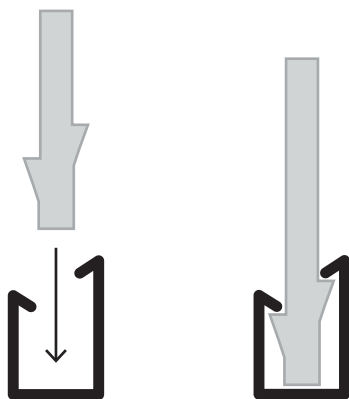
Snaptite Assembly Systemは、工具や留め具を必要とせずに、エンドチャンネルをすべての屋根シートと壁シートにロックします。



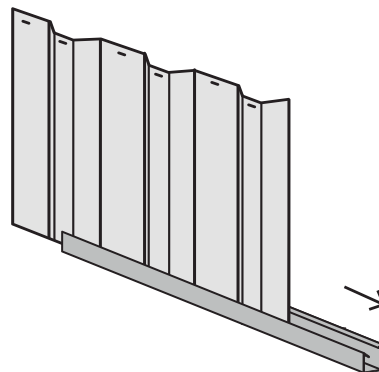
各パネルを組み立てるために、周辺チャンネルは各パネルの上部と下部に固定されています。

シート上のSNAPTITEラグにチャンネルを押し込み、シートに沿って作業します。

各周辺チャンネルは、シートの端と同じ高さに仕上げる必要があります。各端がきれいに揃うまで、シートに沿ってチャンネルを軽くたたくだけです。



チャンネルは、ネジを必要とせずにシートにロックします！



チャンネルを外す必要がある場合は、側面から慎重にスライドさせて外します。

固定記号

SNAPTITE

SNAPTITE固定方法でチャンネルをシートに固定します。

一部のチャンネルにはこのモデルの小屋には不要な追加の穴があるため、コンポーネントをこの場所で1本のネジで結合します。

ネジが他のコンポーネントのさらなる組み立てを妨げる可能性があるため、まだこの場所でコンポーネントを結合しないでください。



最初に穴を開けてコンポーネントを結合します。1つのコンポーネントをテンプレートとして使用して、穴の位置をマークし、3mmのドリルビットで穴を開けます。



3mm pop rivet



4mm nut and bolt set.

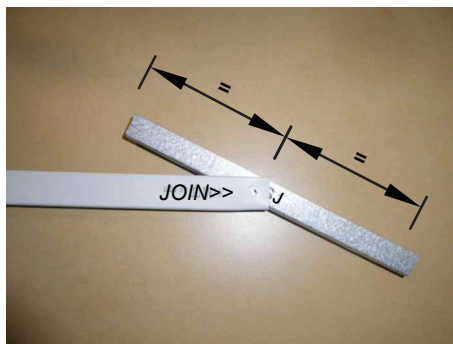
接合されたチャネルの結合に関するガイド

すべての部分にマークされたテキストは、互いに同じ側に表示される必要があります



Step 1.

チャンネルとCSJジョイナーを配置して、CSJの中心が各チャンネルの終端と一致するようにします。

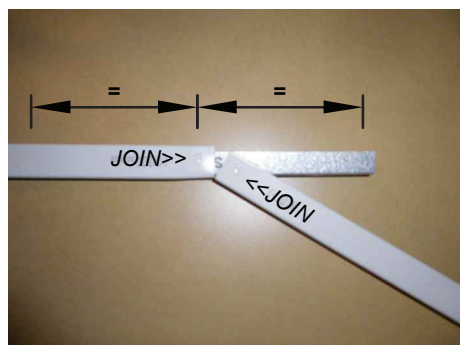


Step 2.

JOIN>>テキストがマークされているチャンネルの端に、CSJの中心を斜めに挿入して、最初のチャンネルをCSJに結合します。

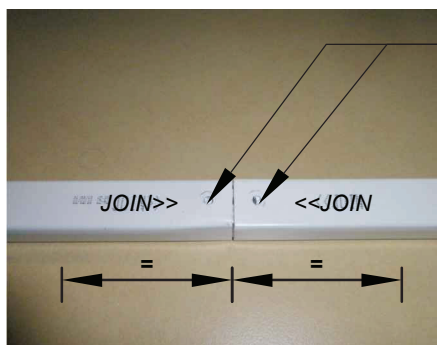


「カチッ」という音が聞こえるまで、CSJの片側を押し下げます。



Step 3.

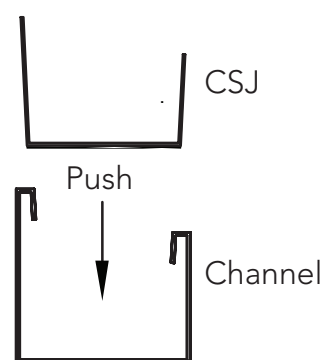
角度を付けてCSJの中心にチャンネルの<<JOINを配置して、2番目のチャンネルをCSJに結合します。「カチッ」という音が聞こえるまで、CSJをチャンネルに押し込みます。



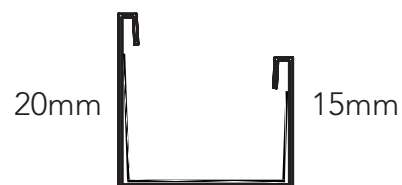
Finished Channel.

結合されたチャンネルは、CSJが結合されたチャンネル内に均等に配置された画像のようになります。

CSJの3mmドリルビットで穴を開けて、チャンネルの穴と一致させます。結合されたチャンネルのネジ止めは、スプライスチャンネルにシートをロックした後に行います。



...



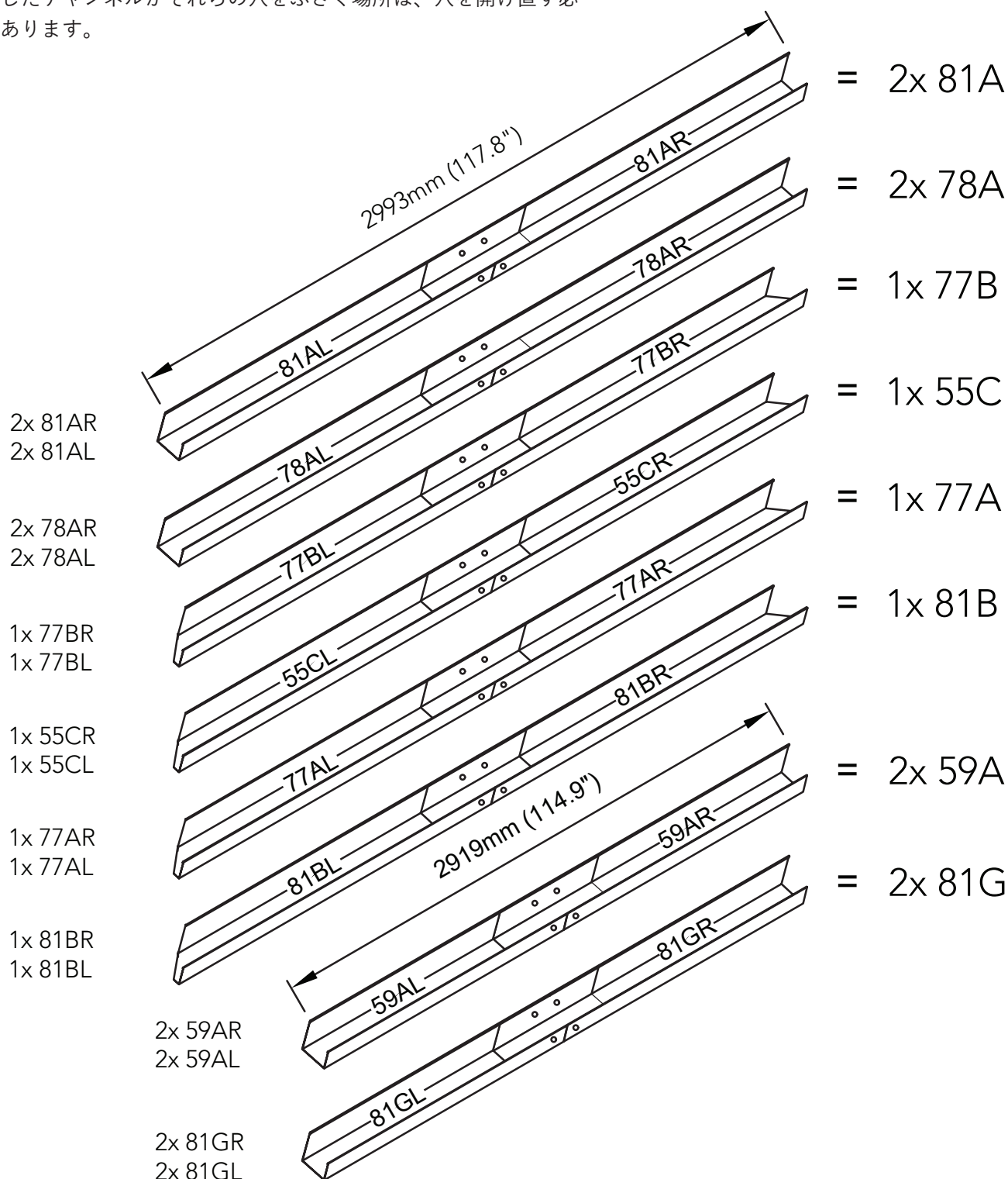
完成したスプライス
チャンネル

PRE-ASSEMBLY OF SPLICED CHANNELS

STEP 1

12 x チャンネルジョイナーを使用して 24 x チャンネルセクションを結合します (パート CSJ)

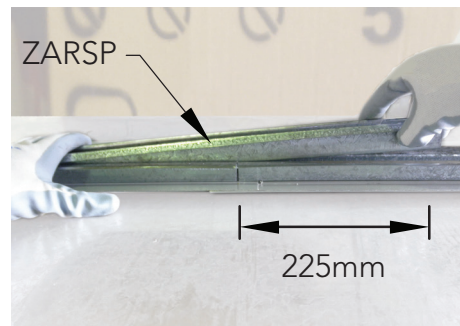
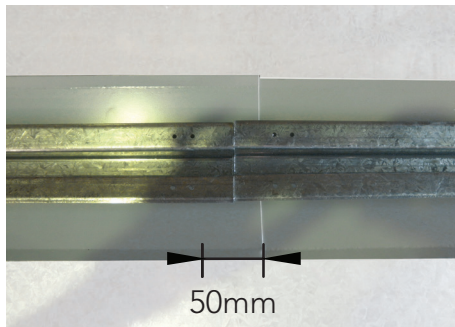
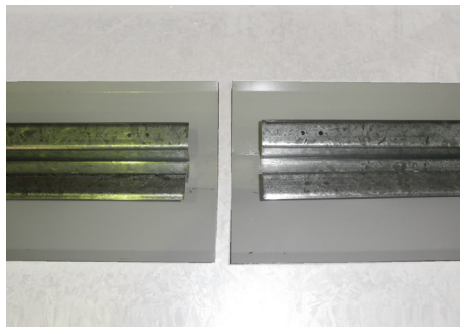
注：一部のチャンネルには穴が開いている場合があります。CSJ で結合したチャンネルがそれらの穴をふさぐ場所は、穴を開け直す必要があります。



スプライスリッジビームの結合に関するガイド

次の3つの手順に従って、棟梁を組み立てます。

リッジbeamキャップの上面に保護フィルムがある場合は、組み立て前に取り除いてください。



Step 1.

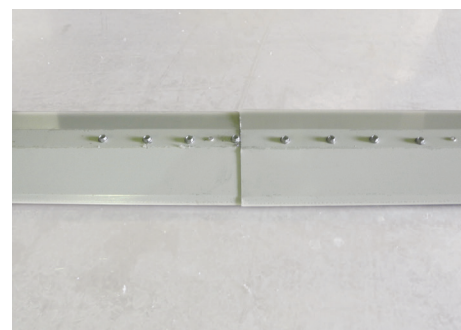
図のように2つの棟梁を配置し、一緒に押し込みます。一方のキャップをもう一方の下にスライドさせます。

NOTE.

beamが所定の位置にあるとき、リッジキャップの50mmの重なりがあります。

Step 2.

ZARSPを使用して、2つの棟梁の中心で接続します。完全に押し込まれていることを確認してください。



Step 3.

棟梁を裏返します。1つのリッジbeamの中心に沿って中央から250mmを測定し、50mmの間隔をマークします。各マーキングでTekネジで固定します。

棟梁アセンブリの反対側まで繰り返します。

ヒント：各穴に3mmのドリルビットで事前に穴を開けると、固定しやすくなります。

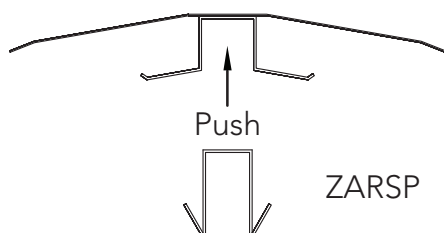
完成したスプライスリッジbeam



Hex Driver Bit



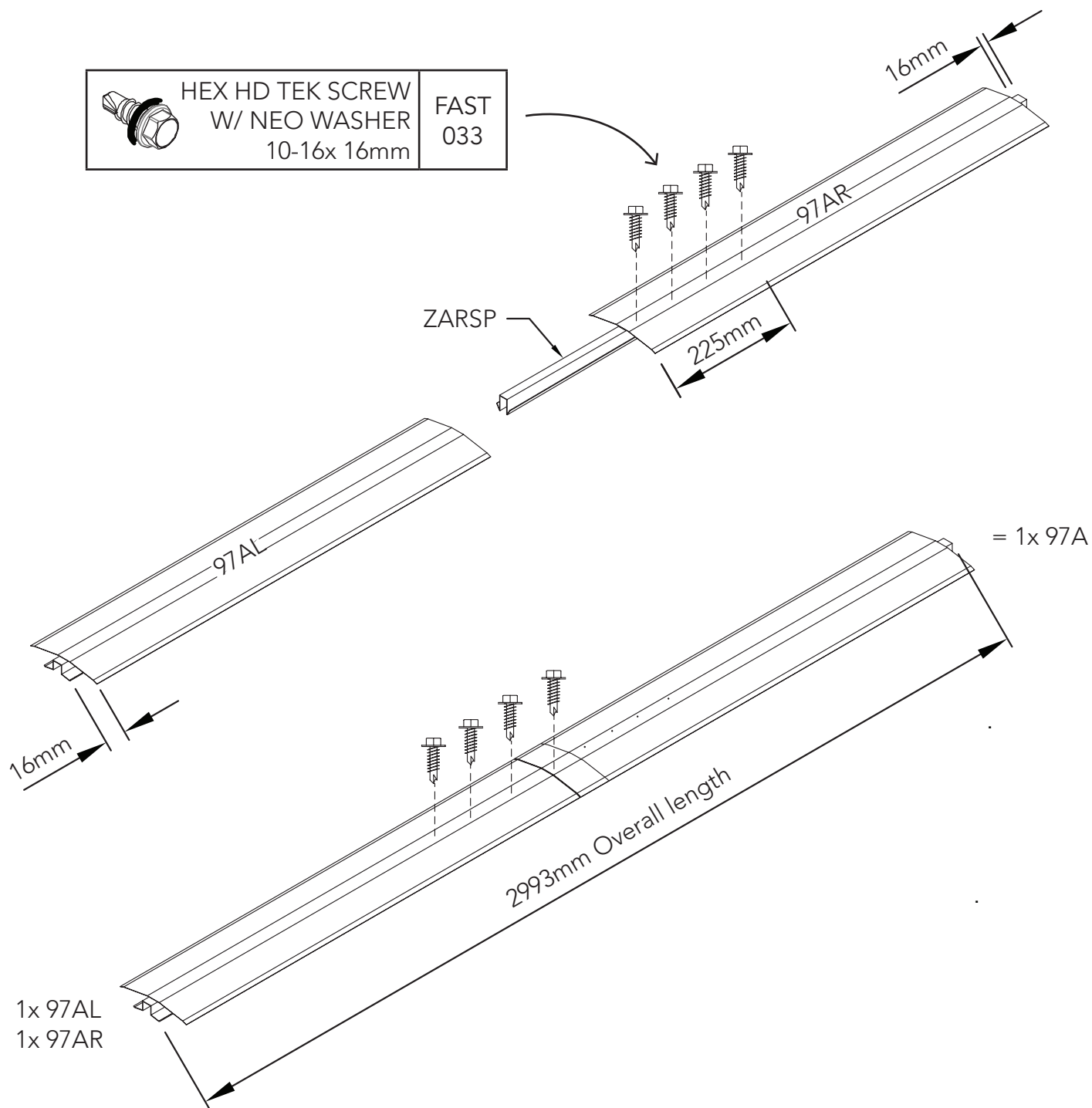
Hex Hd Self-drilling tek screw
with neoprene washer



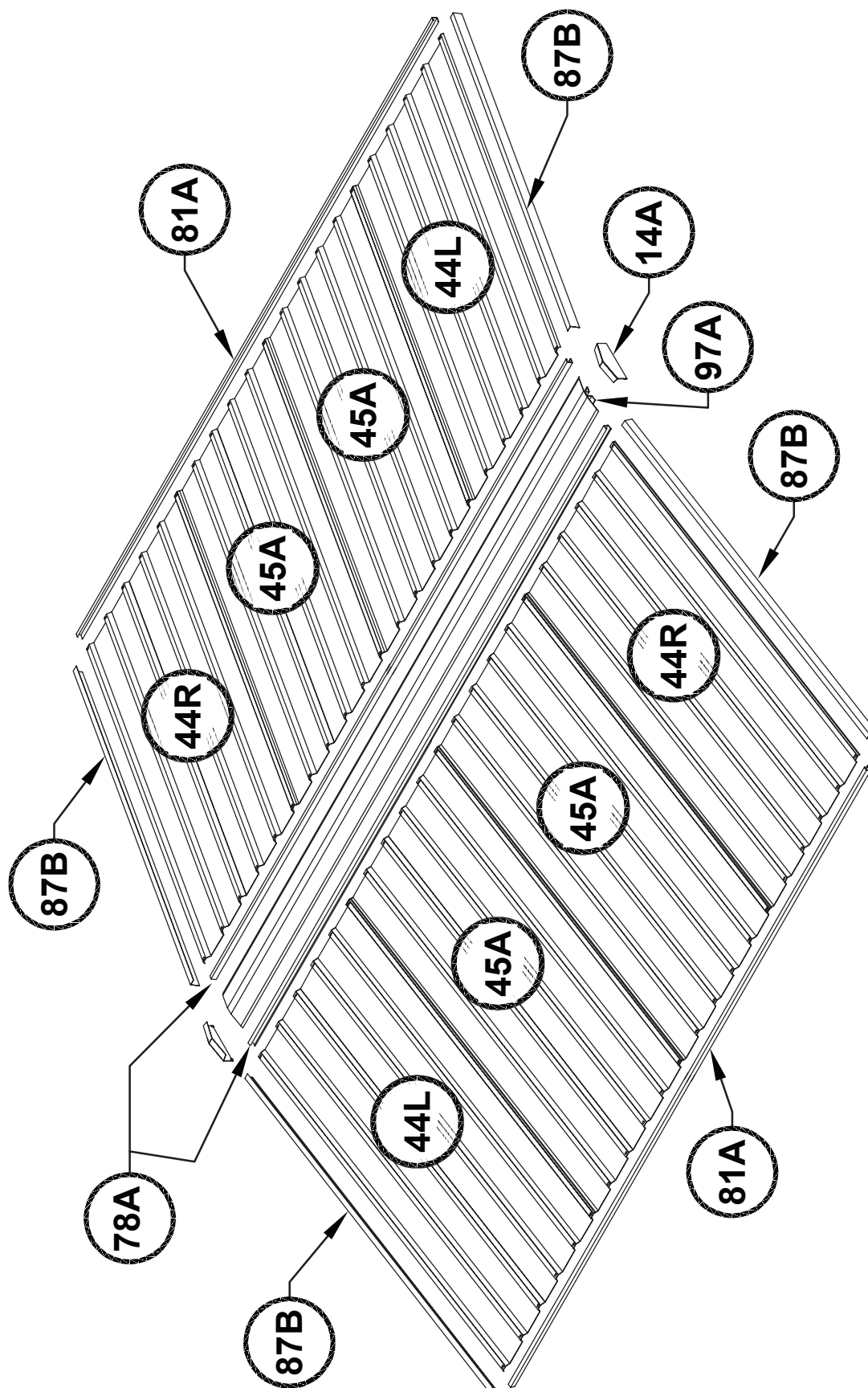
完成したスプライス
リッジbeam

PRE-ASSEMBLY OF SPLICED RIDGE BEAM

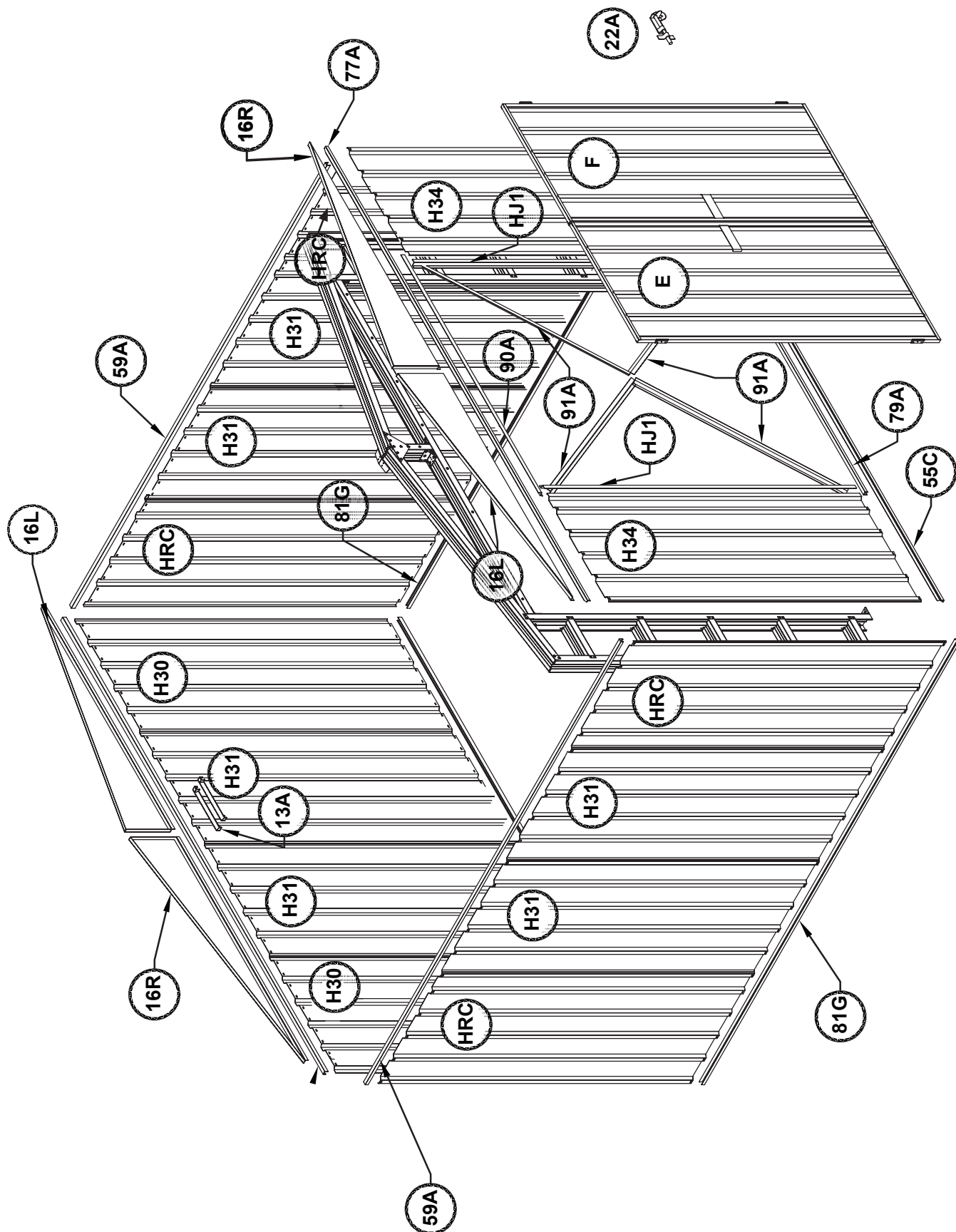
STEP 2



屋根のコンポーネントの概要



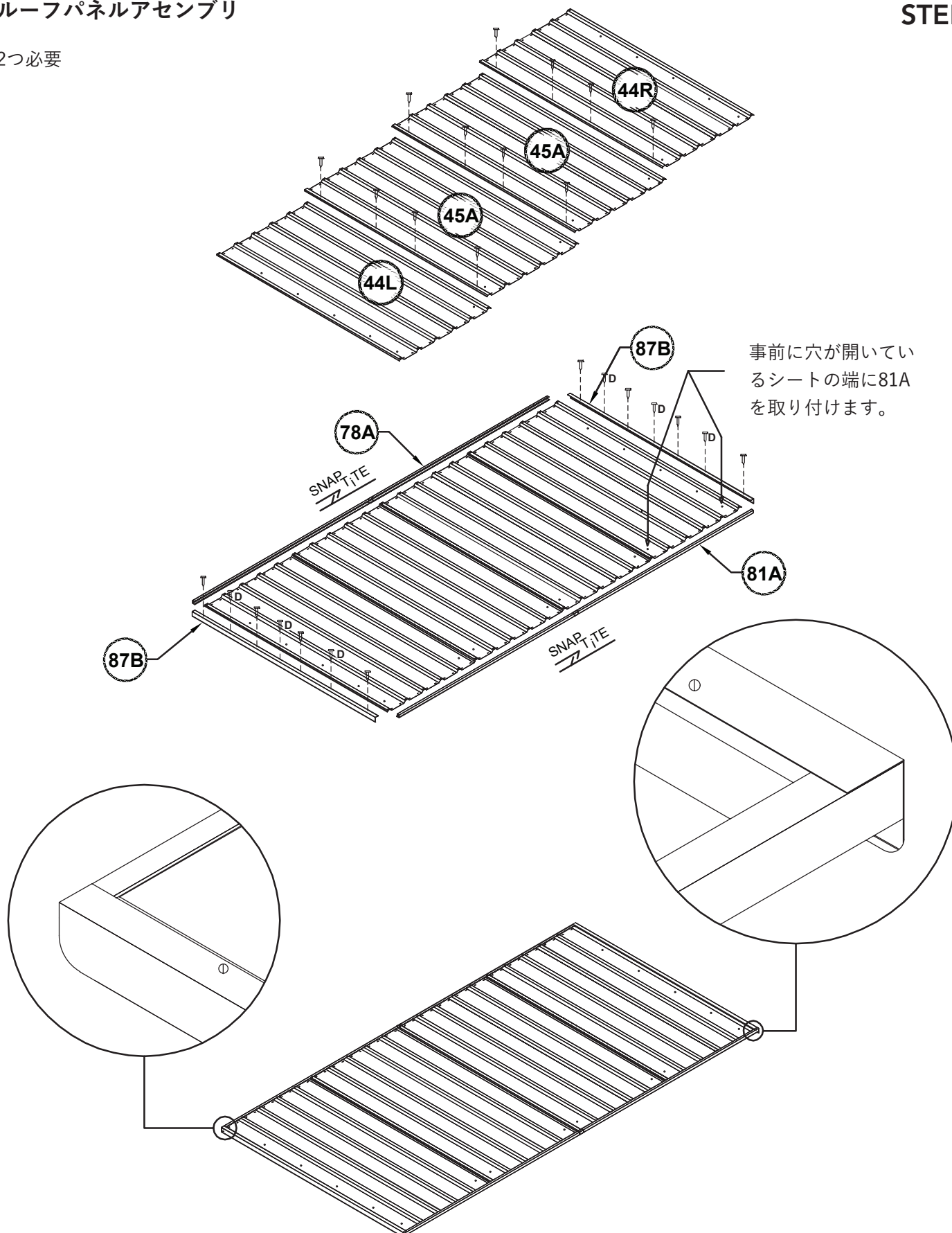
壁のコンポーネントの概要



ルーフパネルアセンブリ

2つ必要

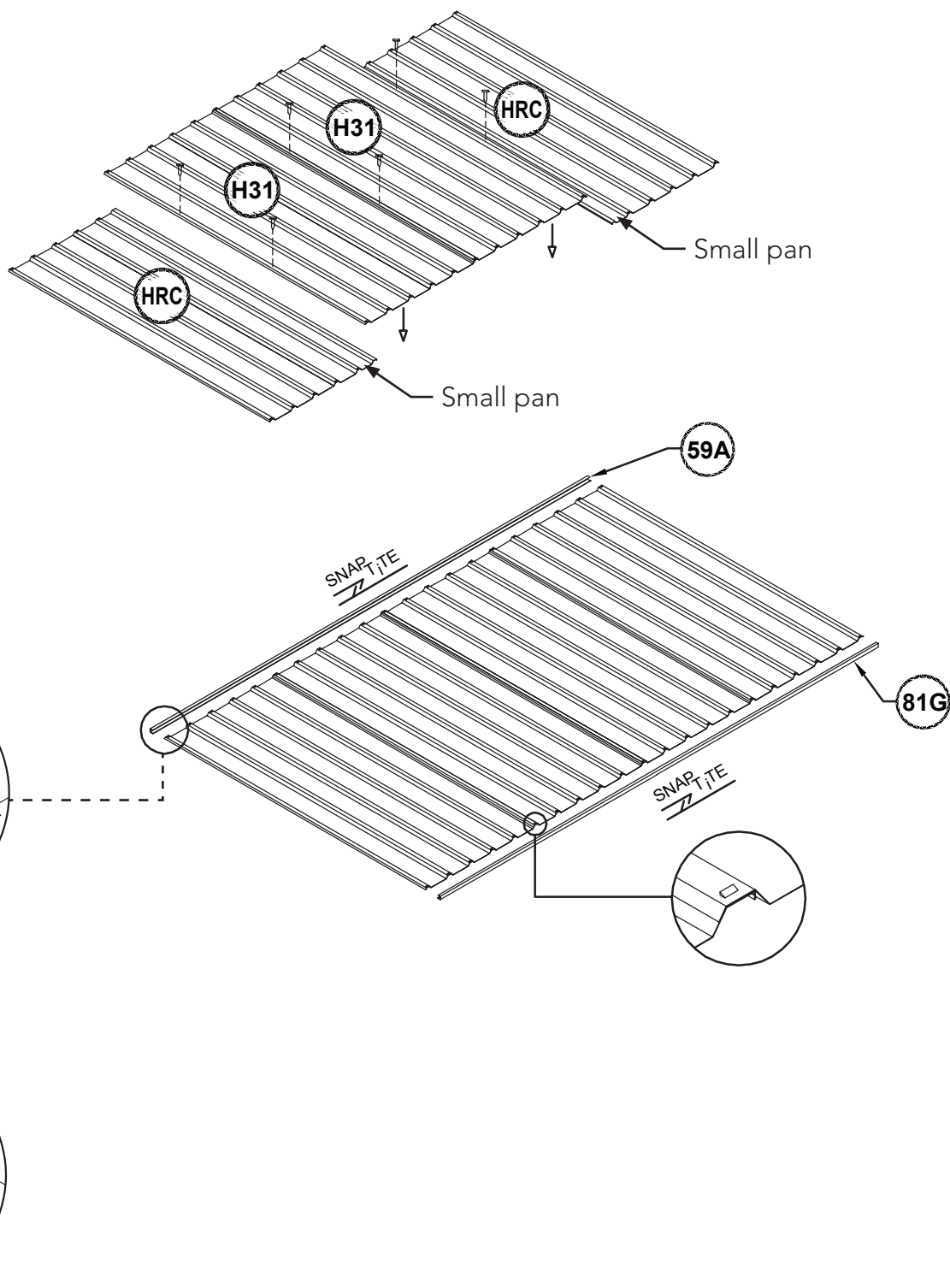
STEP 3



サイドパネルアセンブリ

STEP 4

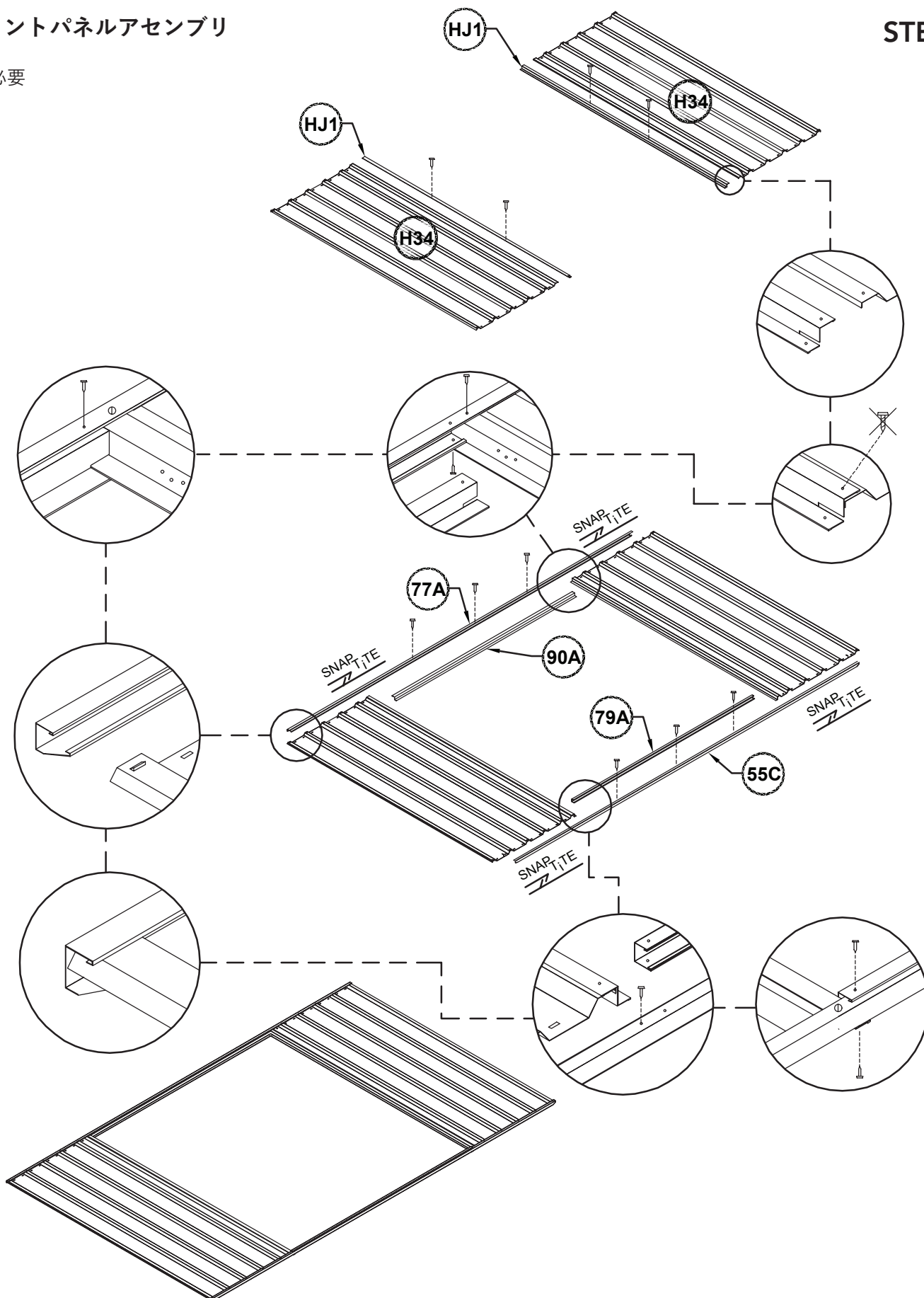
2つ必要



フロントパネルアセンブリ

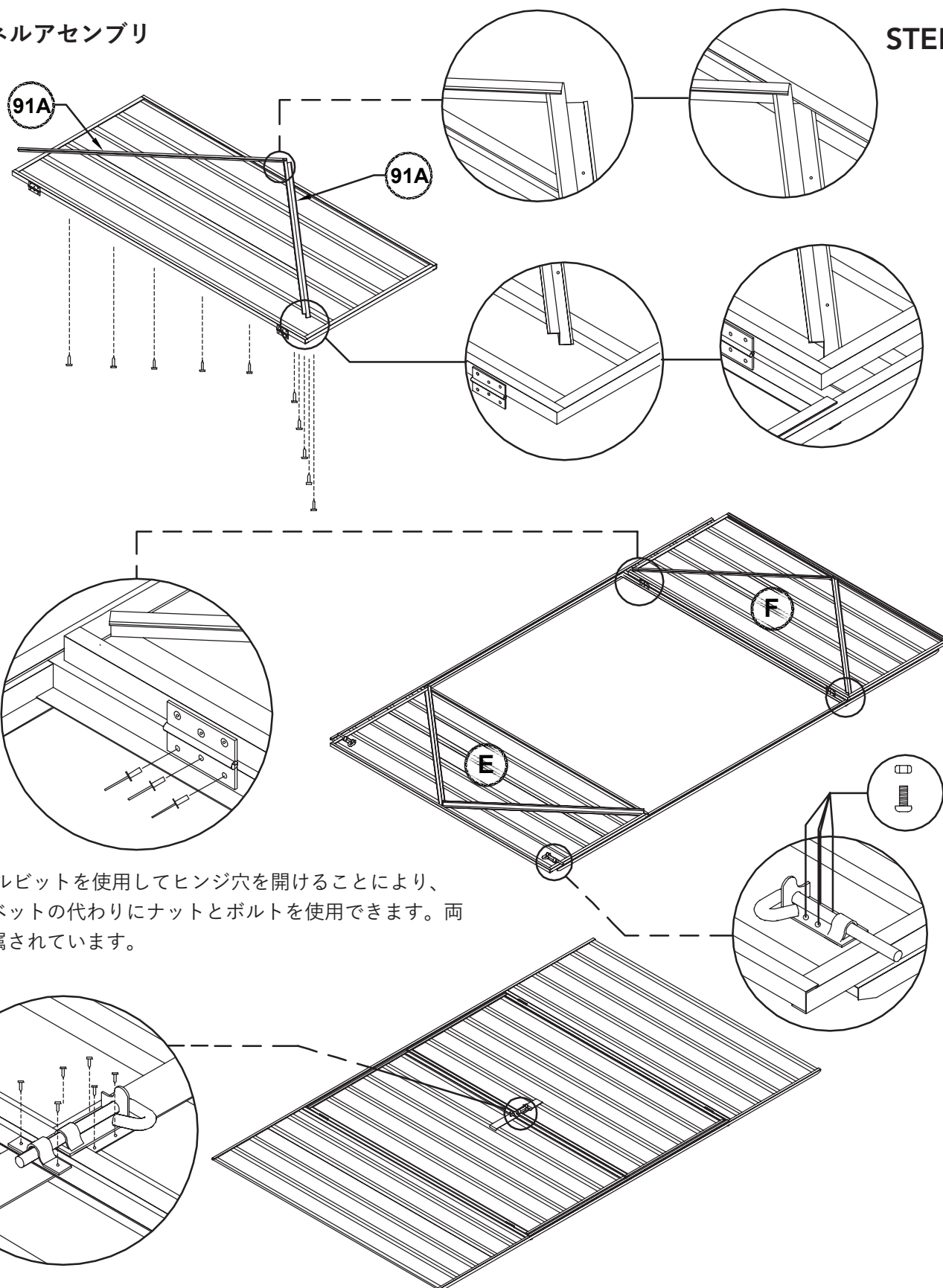
1つ必要

STEP 5



ドアパネルアセンブリ

STEP 7



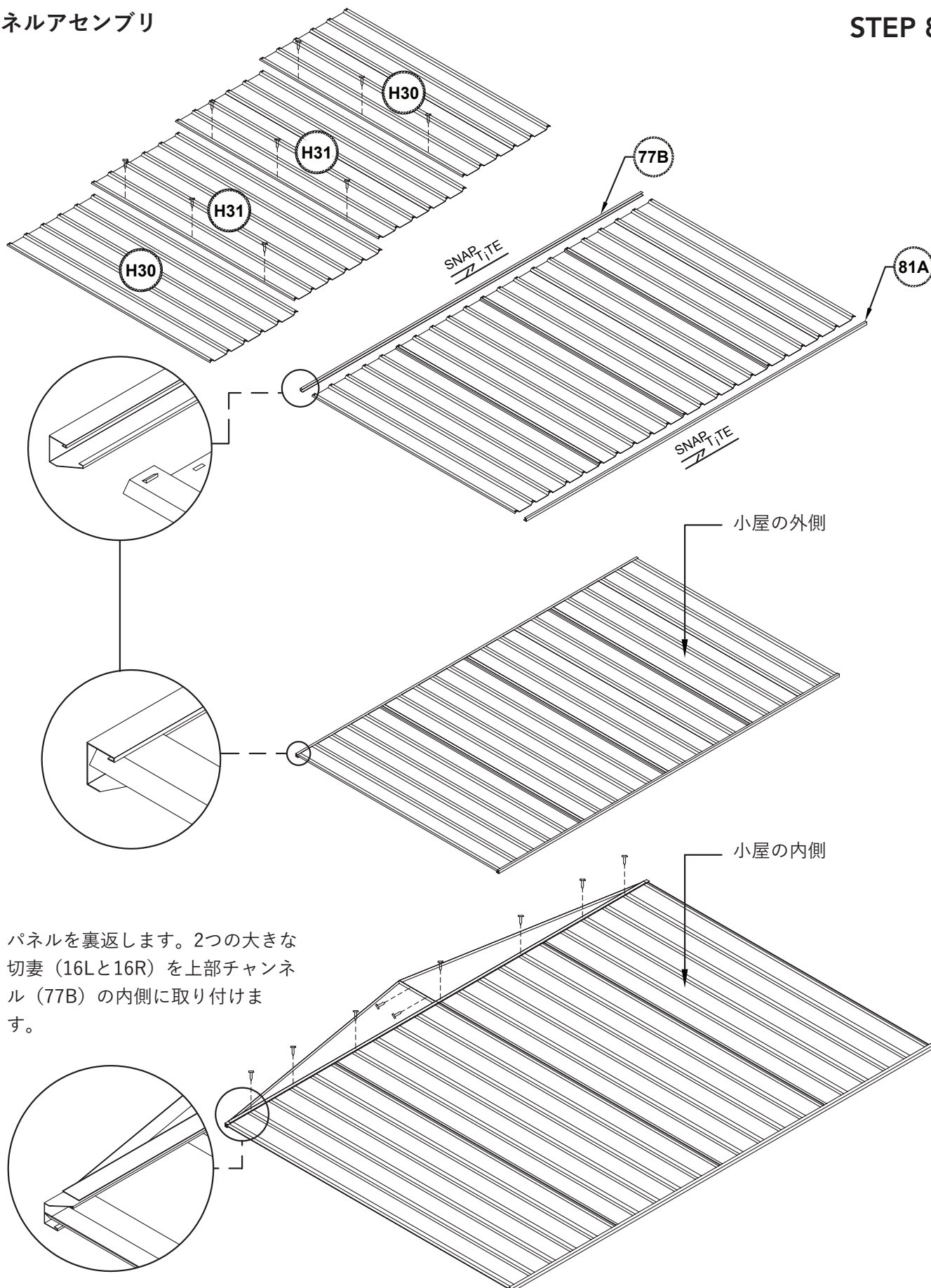
4mmドリルビットを使用してヒンジ穴を開けることにより、ポップリベットの代わりにナットとボルトを使用できます。両方とも付属されています。

それぞれのドアは適切に位置合わせをするために事前に穴が開けられていませんが、掛け金を接合するのに2つの穴を開ける必要があります。パッドボルトシャフトの上でそれぞれの掛け金を中央に配置し、3mmの穴を開けてネジで固定します。

リアパネルアセンブリ

STEP 8

1つ必要

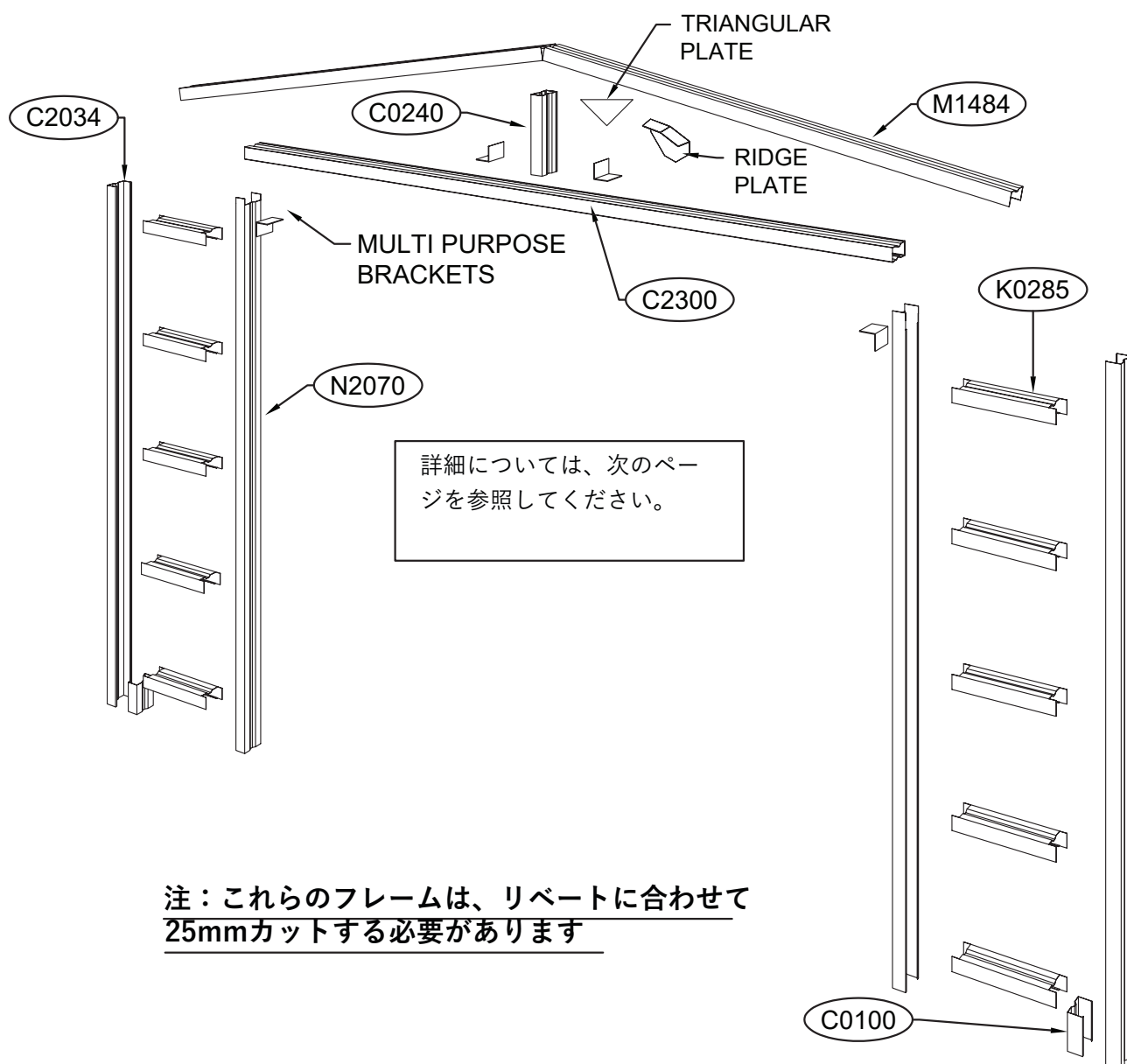
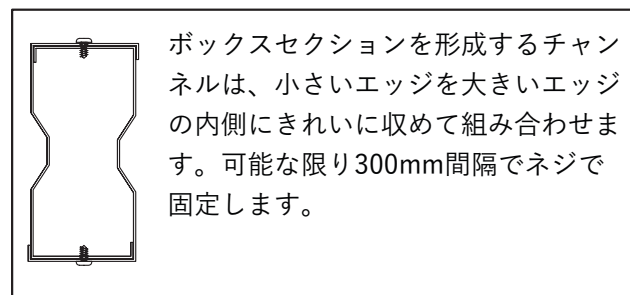
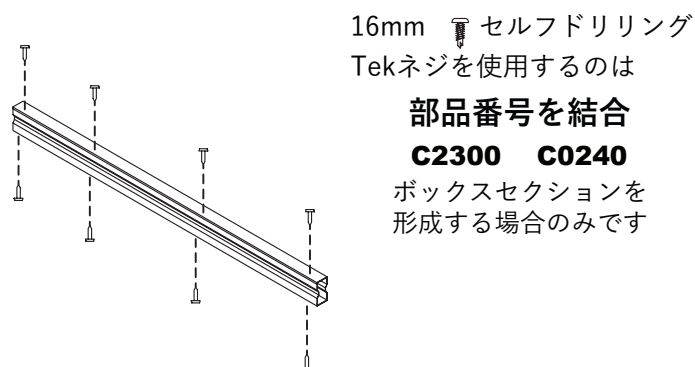


パネルを裏返します。2つの大きな切妻（16Lと16R）を上部チャンネル（77B）の内側に取り付けます。

ハイフロントフレームアセンブリ

STEP 9

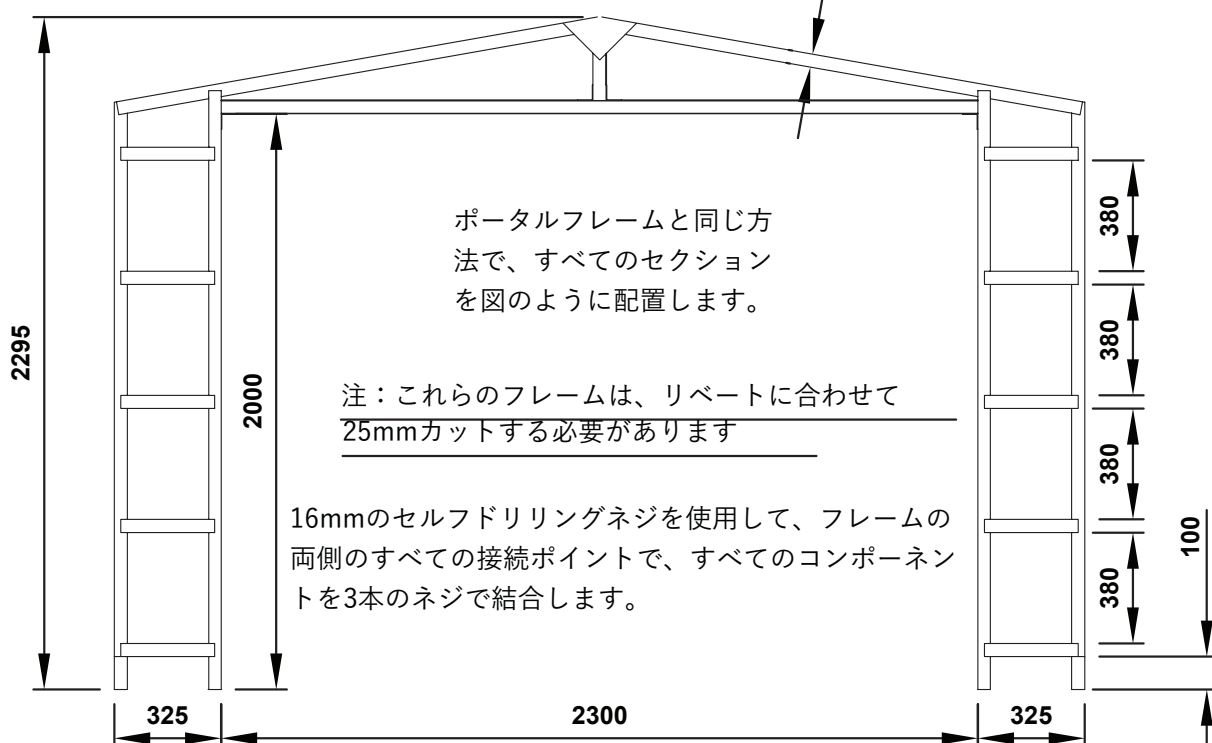
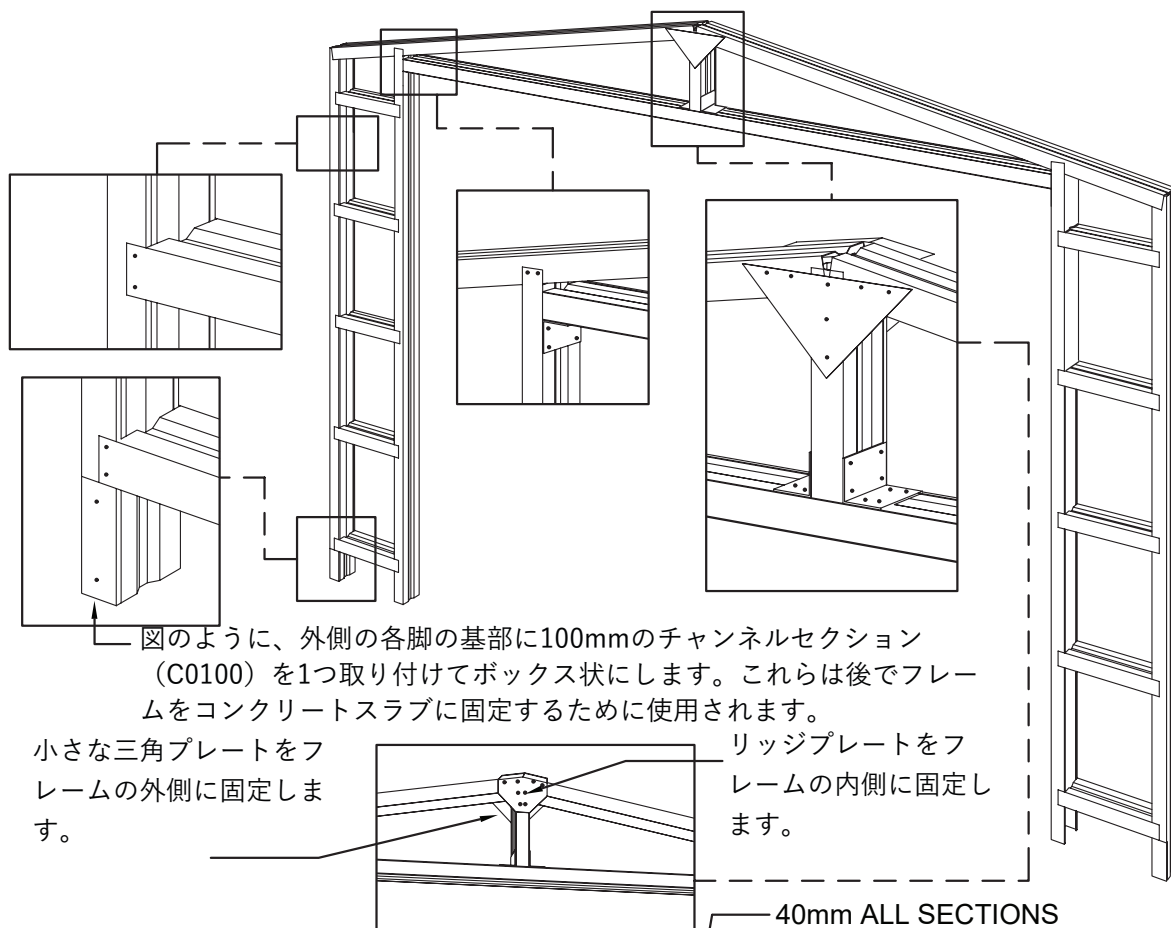
STEP 1 of 2



**注：これらのフレームは、リベートに合わせて
25mmカットする必要があります**

ハイフロントフレームアセンブリ

STEP 2 of 2.



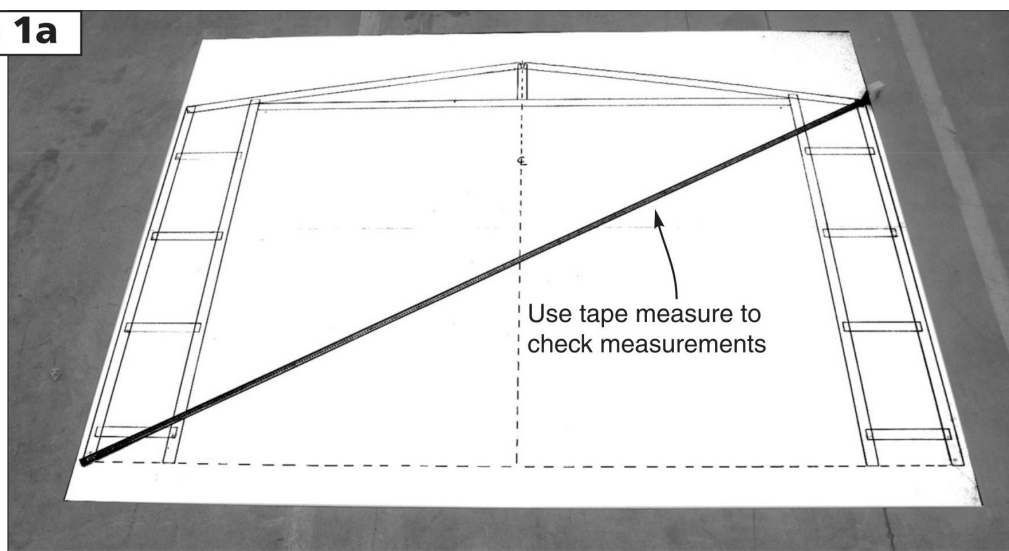
注：コンクリートスラブにエッジリベートがある場合は、フレームの脚の下部を、リベートの深さと同じ長さだけカットする必要があります。

ハイフロントフレームアセンブリ サポート写真

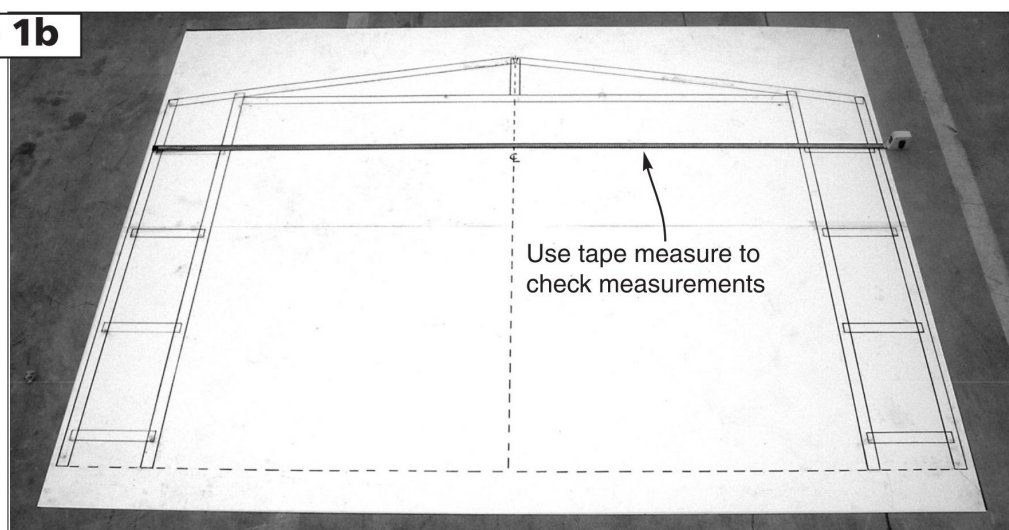
STEP 1.

組立説明書に記載されている寸法に従って、コンクリートにパターンを描きます。

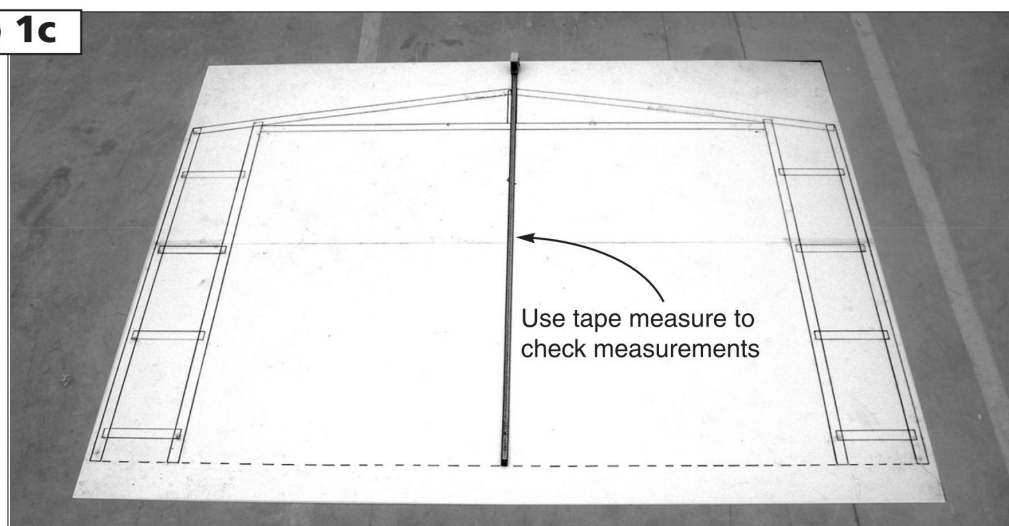
Step 1a



Step 1b



Step 1c

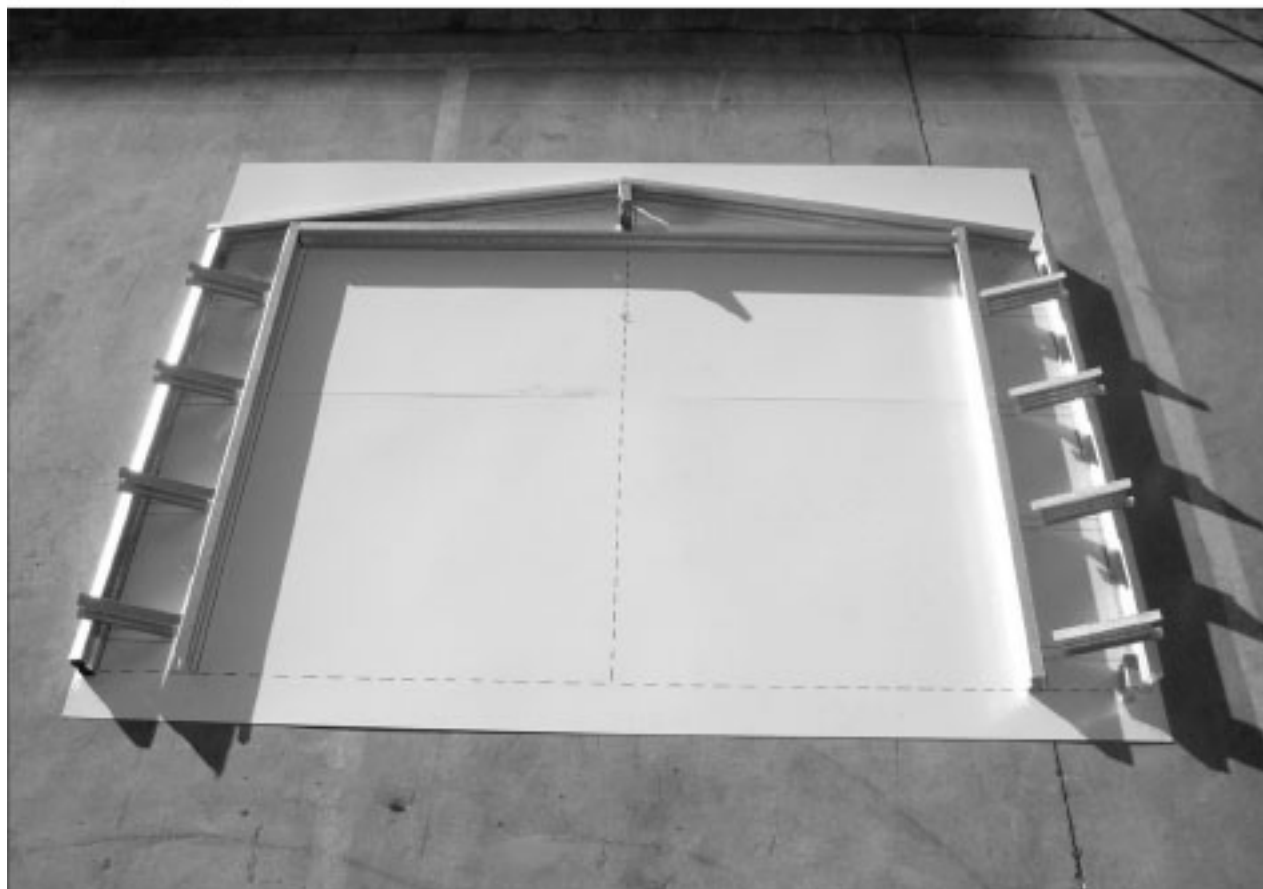


ハイフロントフレームアセンブリ サポート写真

STEP 2.

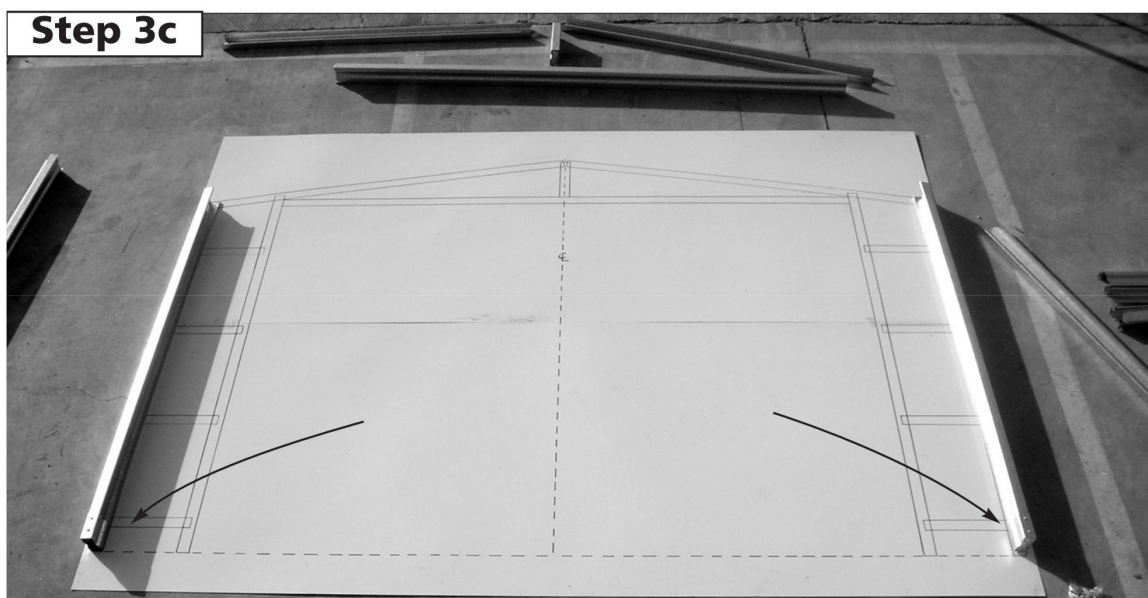
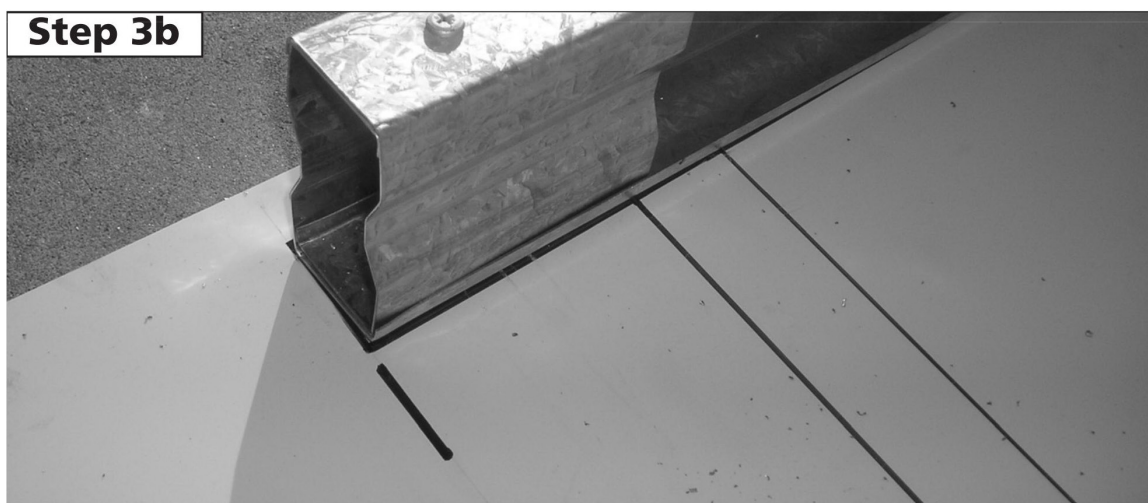
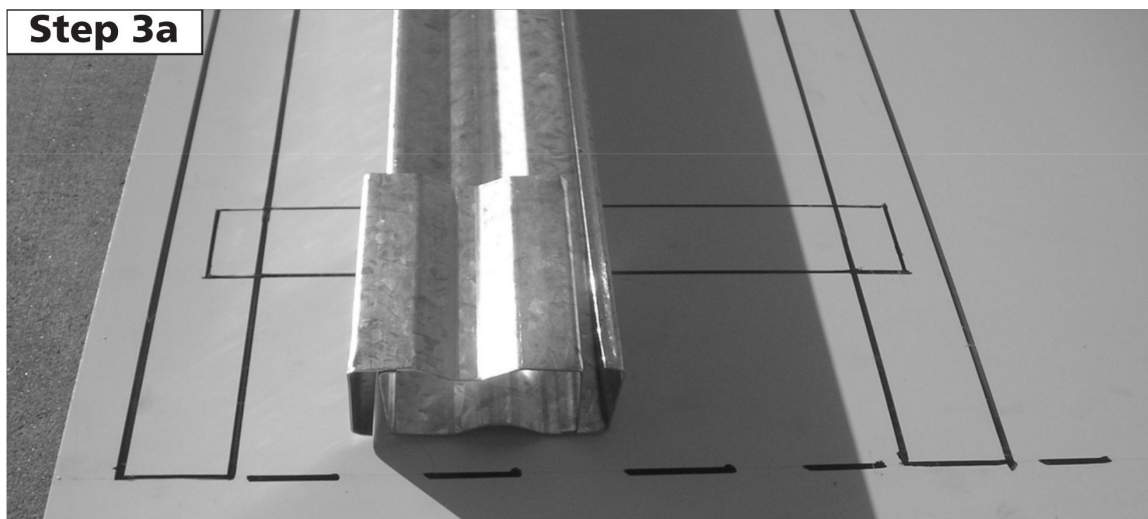
コンポーネントを配置する場所を確認します。

Step 2



ハイフロントフレームアセンブリ サポート写真

STEP 3.
C0100をC2034に結合します



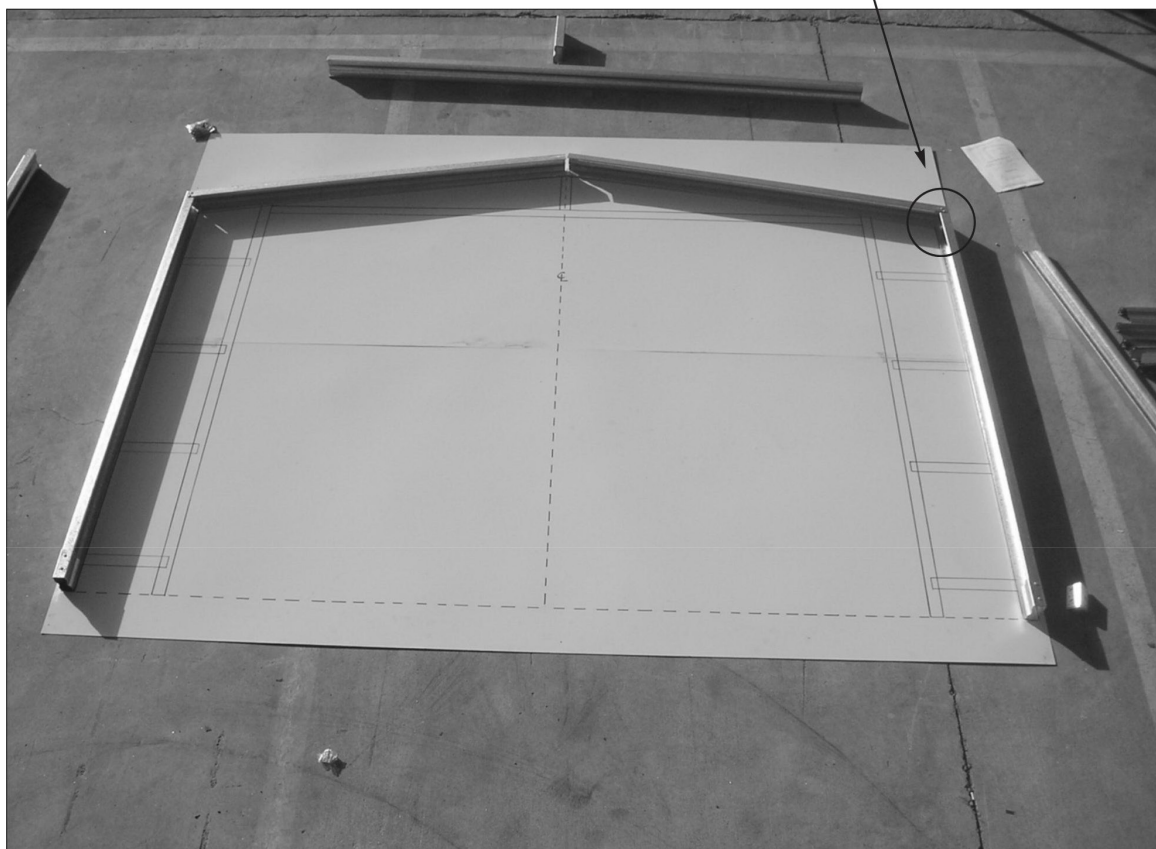
ハイフロントフレームアセンブリ サポート写真

STEP 4.
C2034をM1484に結合します

Step 4a



Step 4b



ハイフロントフレームアセンブリ サポート写真

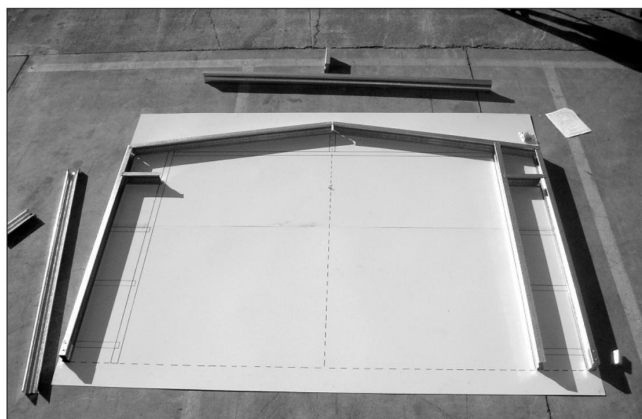
STEP 5.

K0285をC2034とN2070に結合します。

Step 5a



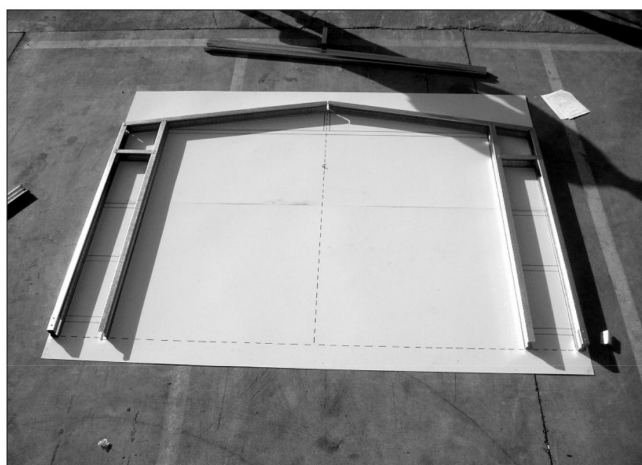
Step 5b



Step 5c



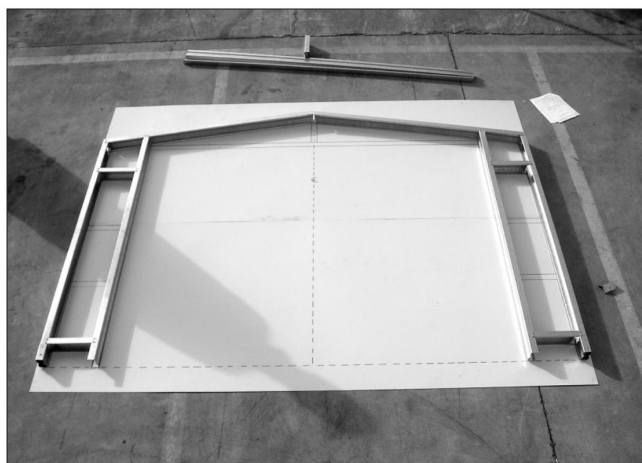
Step 5d



Step 5e



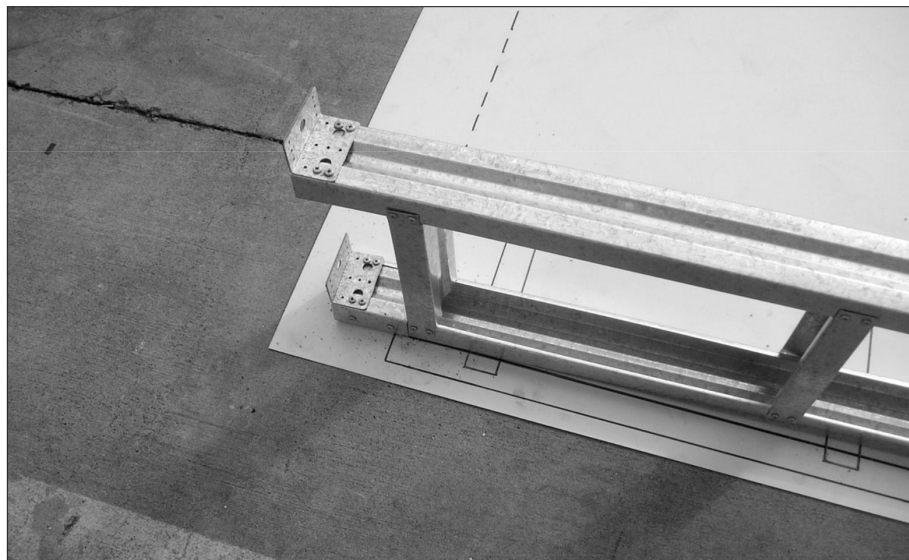
Step 5f



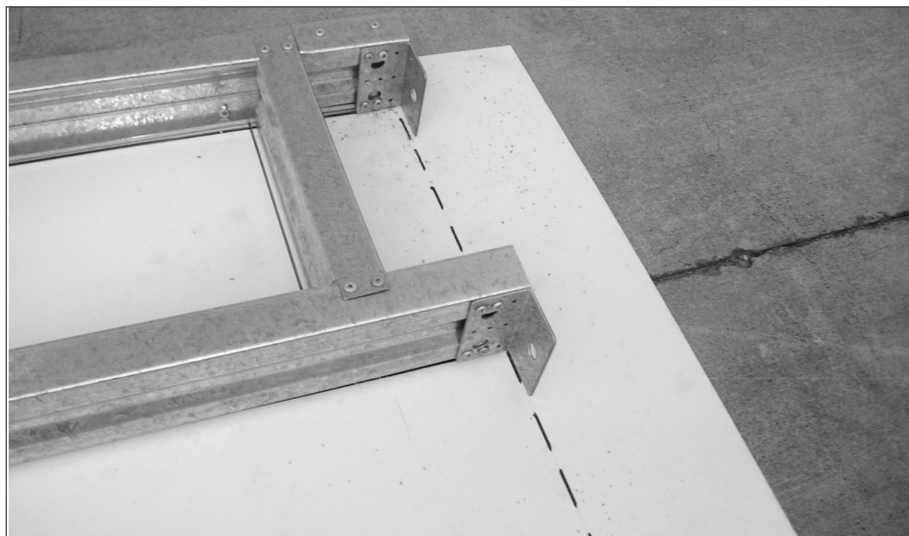
ハイフロントフレームアセンブリ サポート写真

STEP 6.
多目的ブラケットを取り付けます。

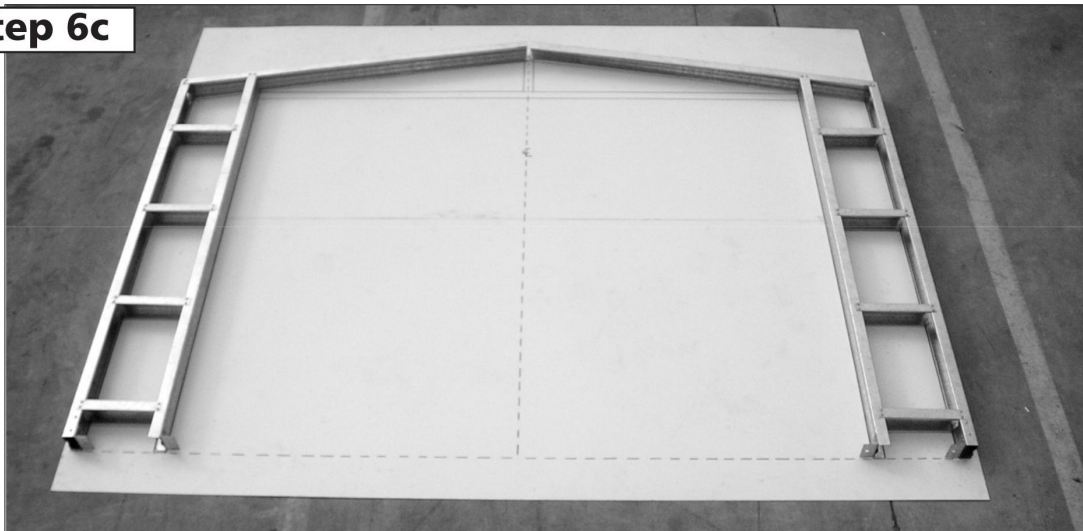
Step 6a



Step 6b



Step 6c

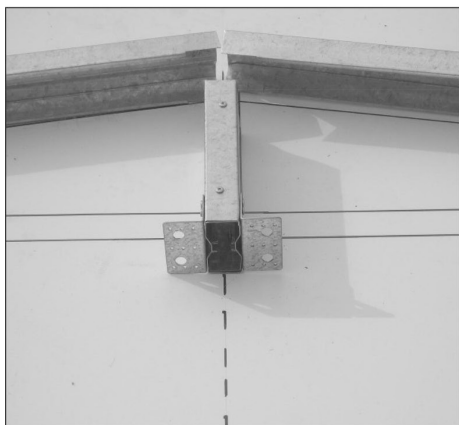


ハイフロントフレームアセンブリ サポート写真

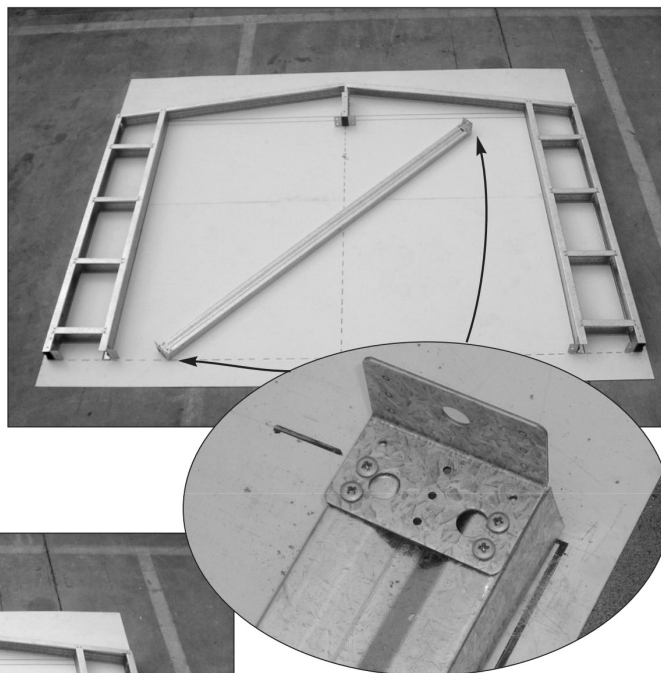
STEP 7.

C0240とC2300のセクションを組み立てます。

Step 7a



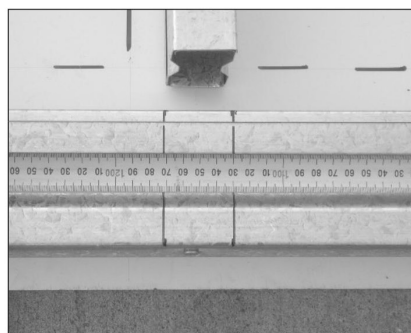
Step 7b



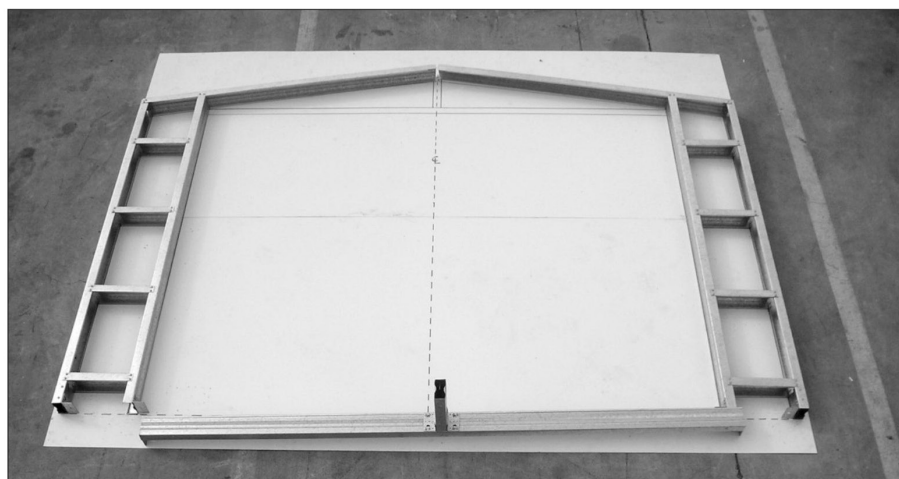
Step 7c



Step 7d



Step 7e



ハイフロントフレームアセンブリ サポート写真

STEP 8.
すべてのセクションを結合します。

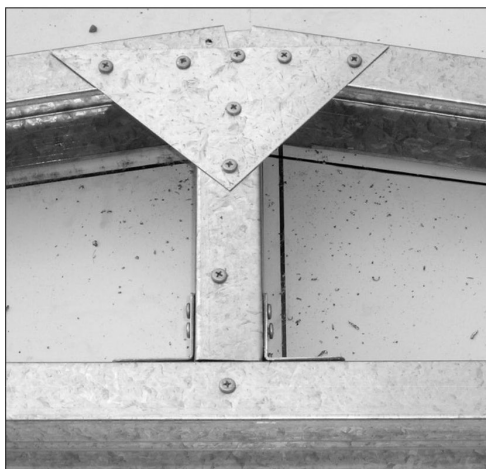
Step 8a



Step 8b



Step 8c



Step 8d



Step 8e

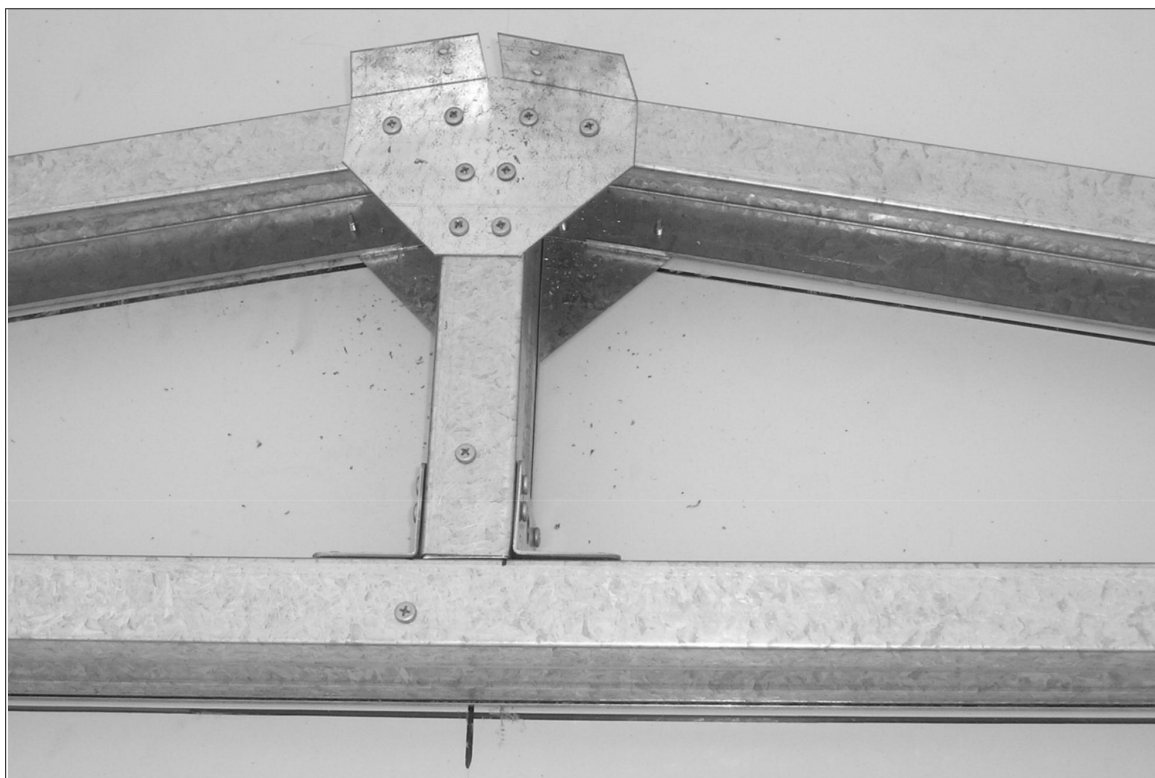


ハイフロントフレームアセンブリ サポート写真

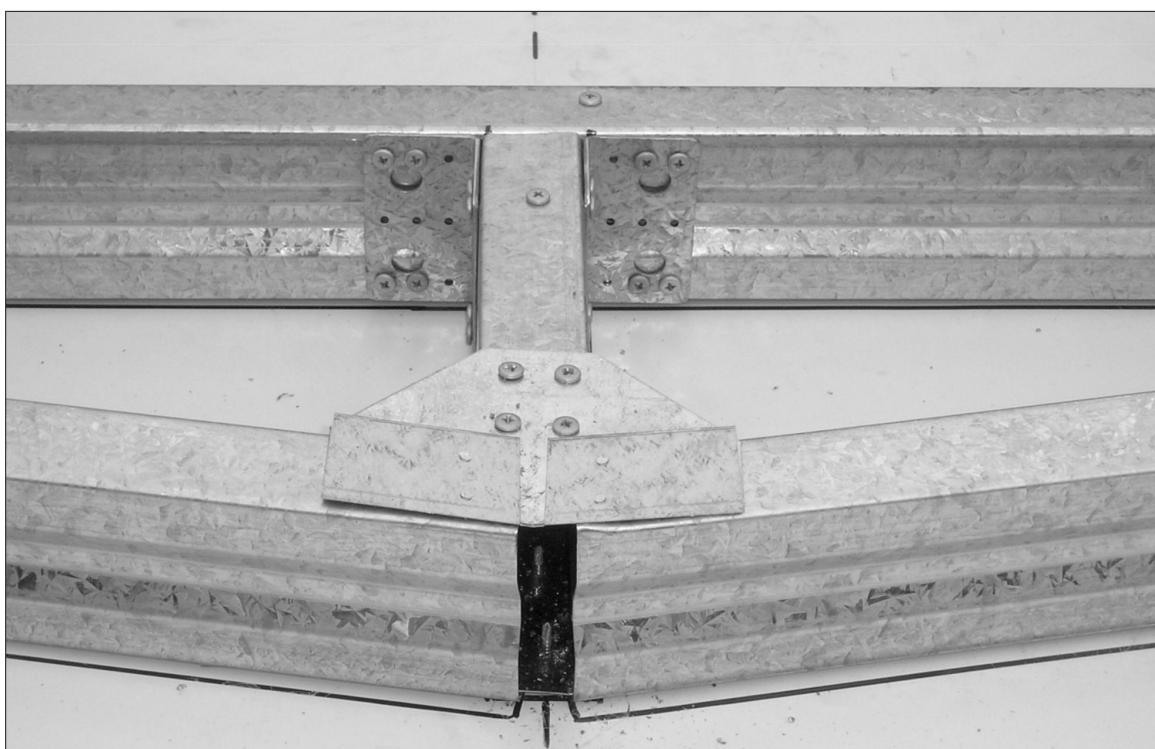
STEP 9.

フレームを裏返し、手順4～8を繰り返します。

Step 9a

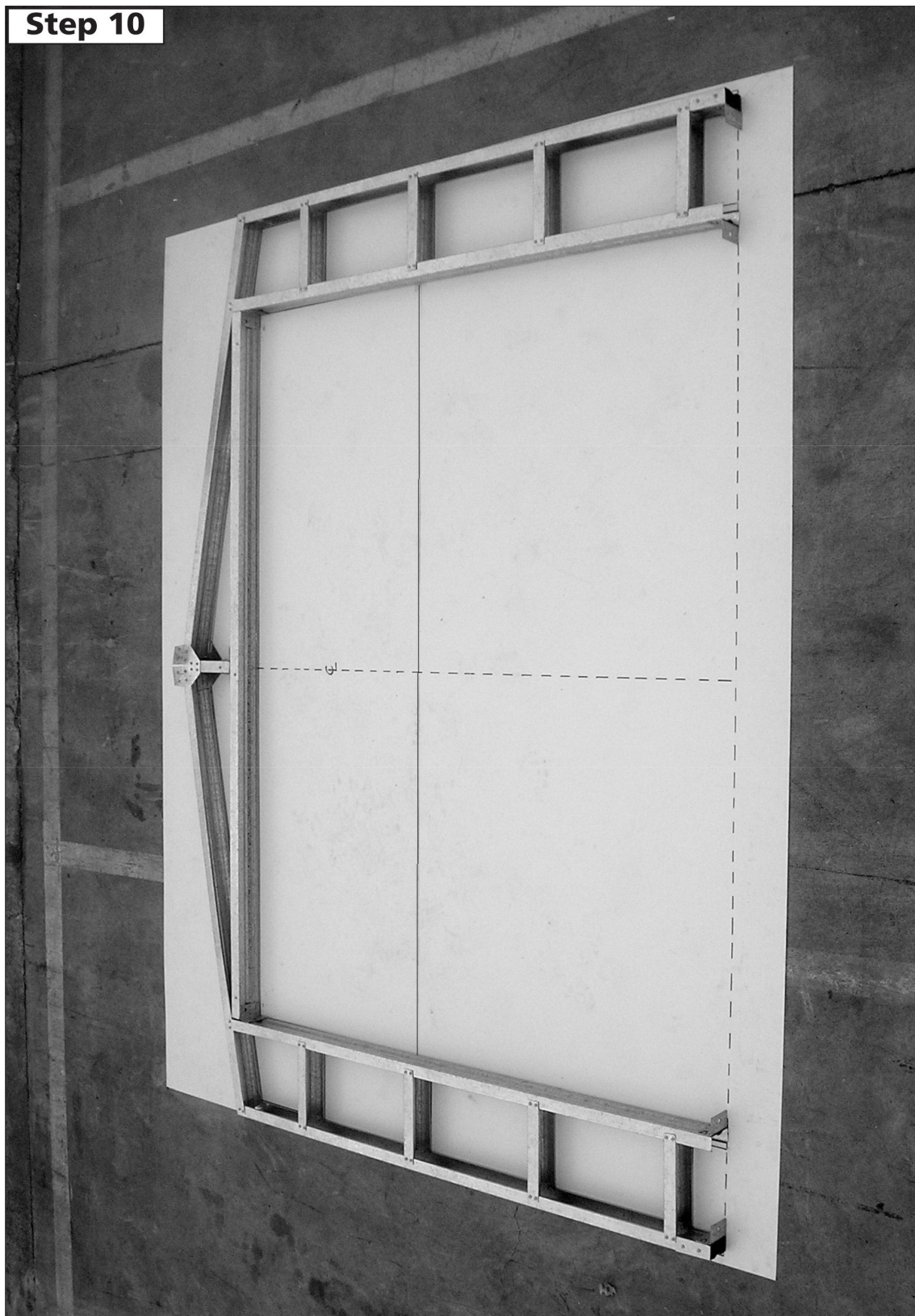


Step 9b



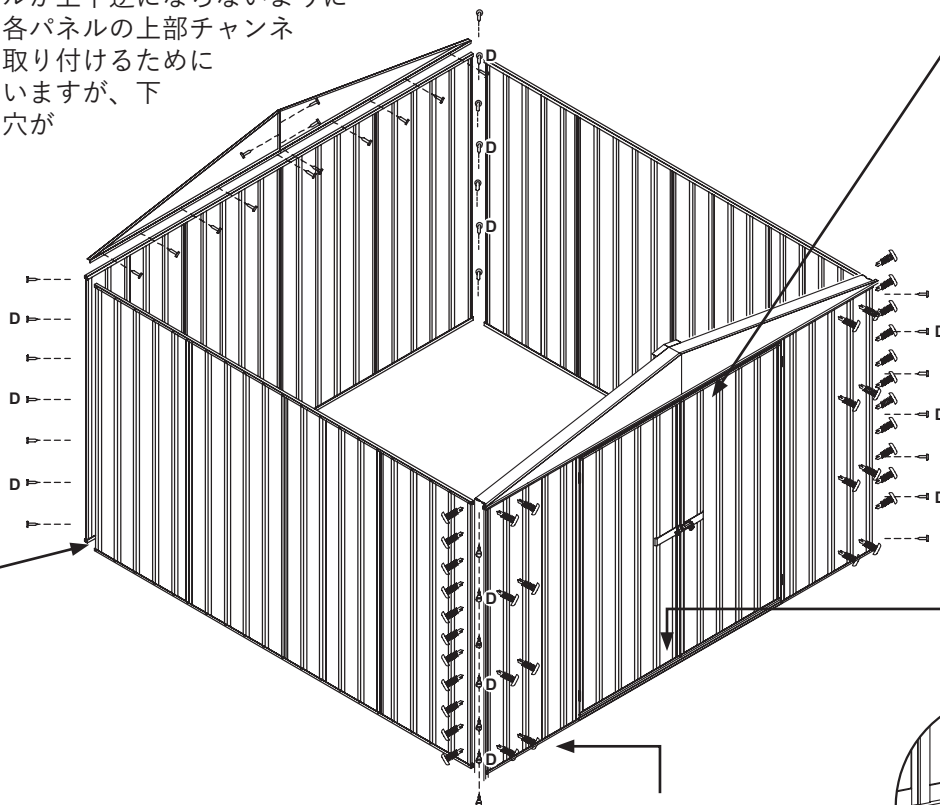
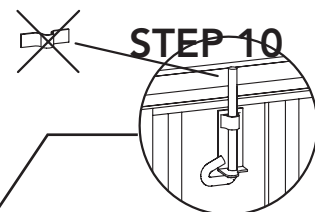
ハイフロントフレームアセンブリ サポート写真

STEP 10.
完全に組み立てられたフロントフレーム。



パネル構造

注：すべての壁パネルが上下逆にならないように注意してください。各パネルの上部チャンネルは、屋根シートを取り付けるために事前にパンチされていますが、下部のチャンネルには穴があいていません。



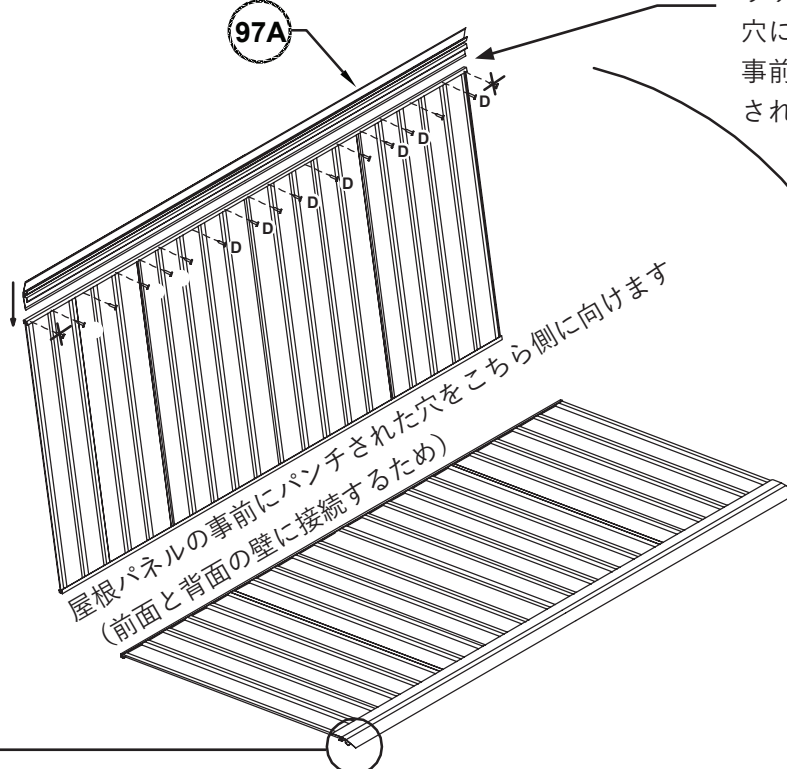
コンクリートスラブの場合は、付属の掛け金を使用する代わりに10mmの穴を開けます。

16mmのセルフドリリングネジを使用して、壁を内部フレームに固定します

側壁の溝は、切り欠きのある背面の壁の溝にはまります。

リッジビームの穴に合わせて事前にパンチされたチャンネル

97A

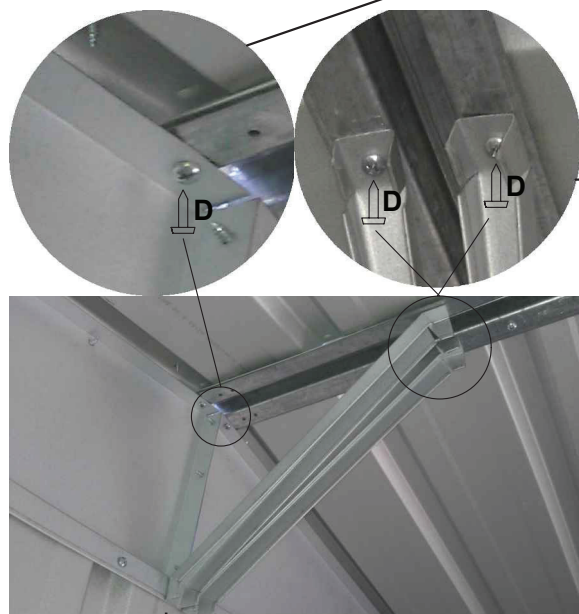


屋根パネルの事前にパンチされた穴をこちら側に向けます
(前面と背面の壁に接続するため)

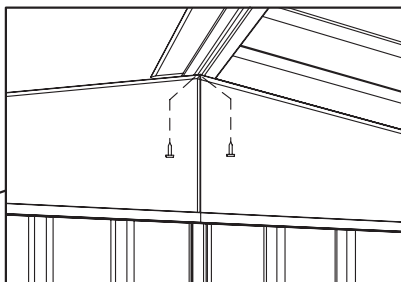
屋根構造

STEP 1.

屋根パネルを所定の位置にスライドさせ、この段階でのみ、各コーナーで1つのネジで固定します。



INSIDE VIEW

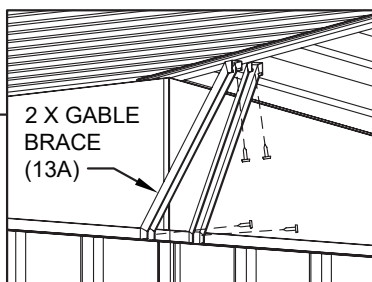


STEP 11

STEP 2.

各端に2本のネジを使用し、棟梁を切妻セクションに固定します。

INSIDE VIEW



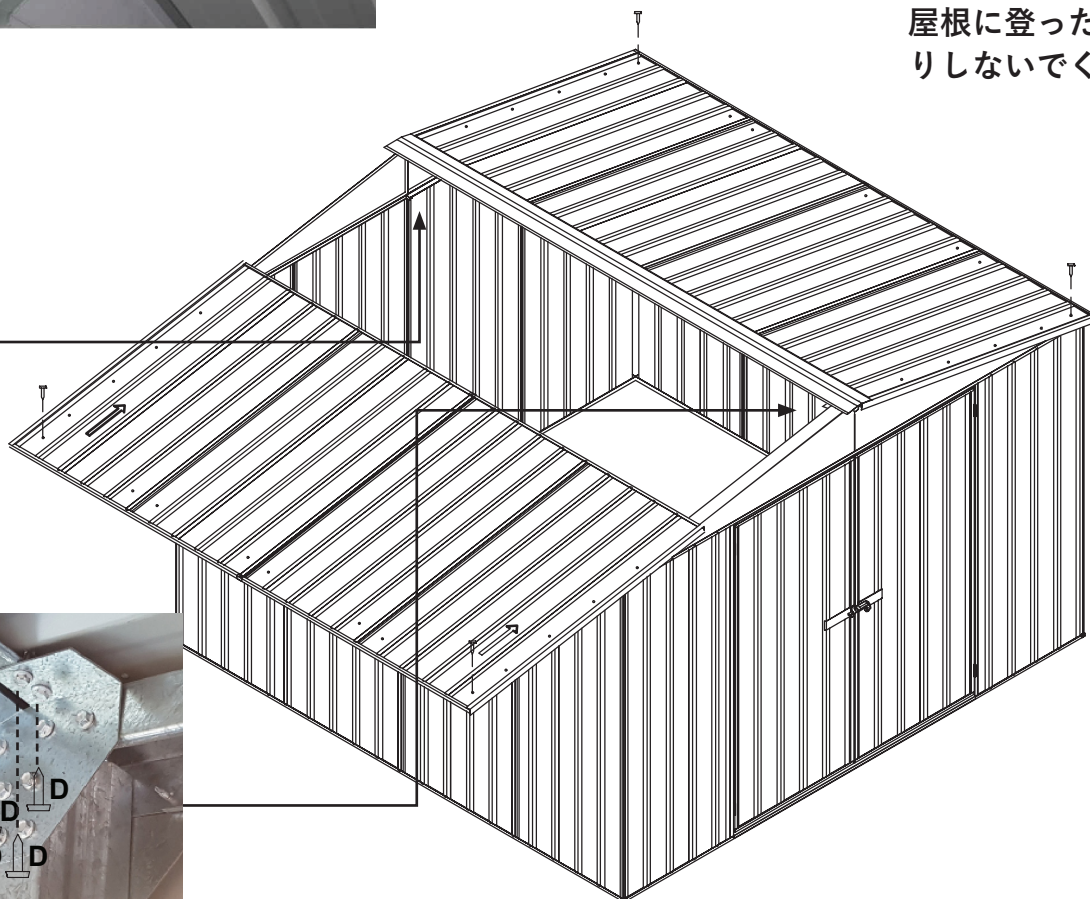
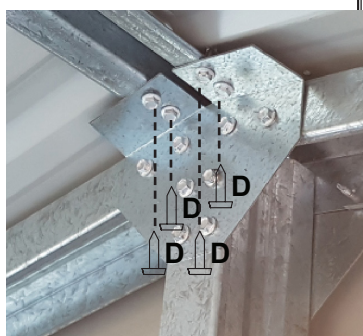
STEP 3.

屋根パネルを固定した後、図のように両方の切妻壁に、上部の壁チャンネルから棟梁の下側へ45度で2つの切妻ブレース（13A）を取り付けます。

注：この記号  は、固定する前に3mmのドリルビットで事前に穴を開けることを示します。

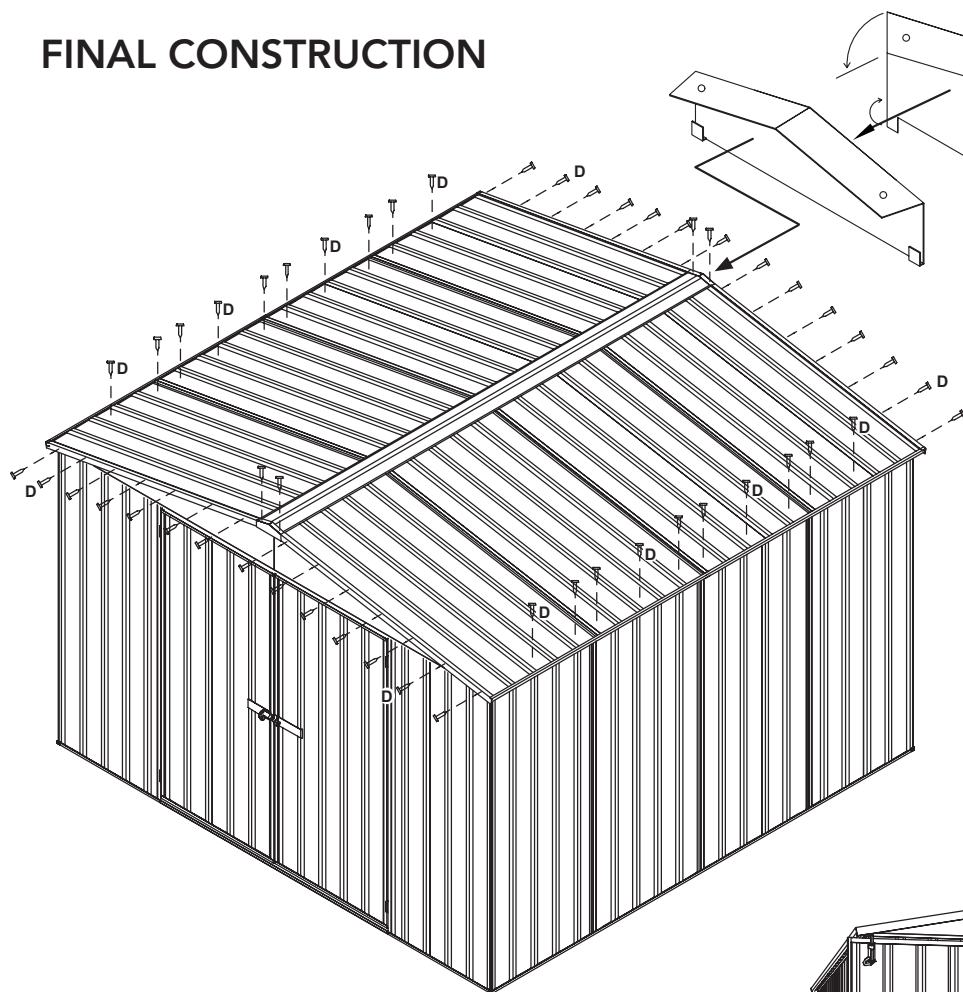
- 警告 -

屋根に登ったり、歩いたりしないでください。

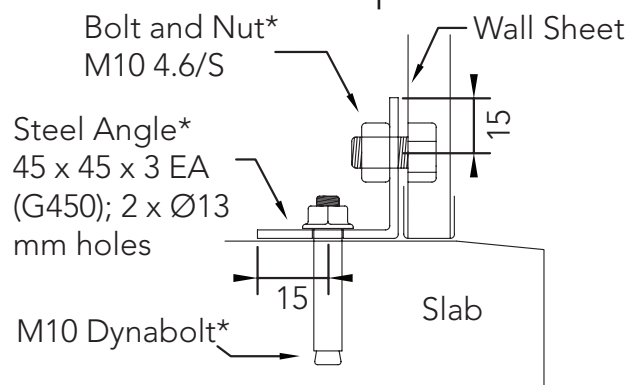
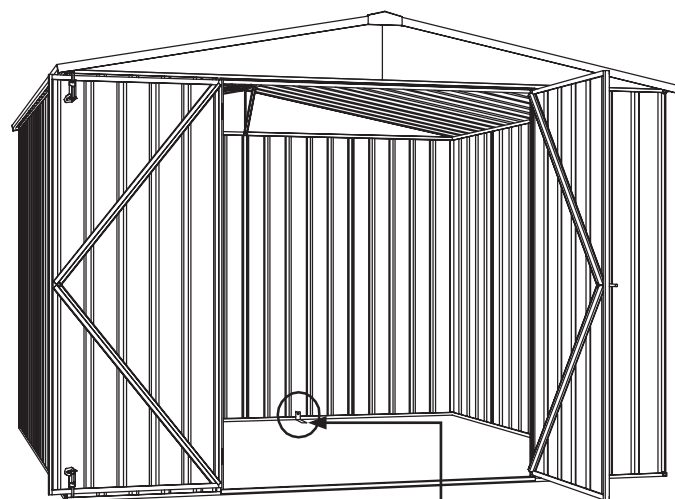
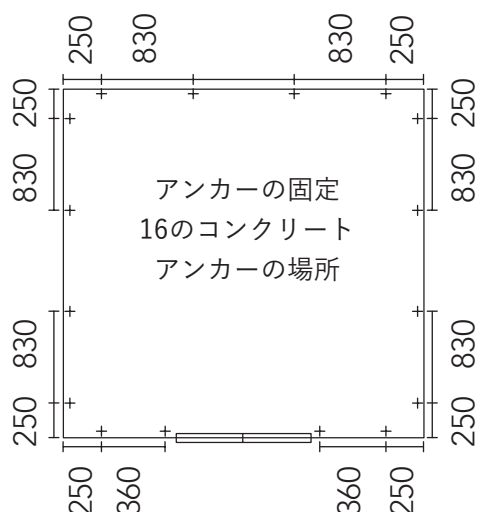


FINAL CONSTRUCTION

STEP 12



図のように上下のフランジを曲げてから、下のフランジを上チャンネルの下に引っ掛け、2本のネジで上部をリッジビームにネジ止めします。



各アンカーは、1つのナット、ボルト、M10ダイナボルト、スチールアングルで構成されています。
壁シートに10mmの穴を開けます。
コンクリートに10mmの穴を開けます。

* Denotes hot dip galvanised finish

Absco Large Gable Roof Shed Notes

General

- 1.Gこの取扱説明書は、他のコンサルタントの図面、仕様書、およびAbscoおよび/またはその代表者が提供する書面による指示と併せて読んでください。
- 2.G本書に記載されている図面は、設置および構造エンジニアリングのみを目的としています。提供された文書内で矛盾が発見された場合、これらは、影響を受ける作業セクションを開始する前に、Abscoに通知され、書面による承認を得なければならない。
- 3.G疑問がある場合はご質問ください。
- 4.G地方自治体の承認が得られるまで、これらの図面による建設を開始することはできません。
- 5.Gプロジェクトの仕様によって異なる場合を除き、すべての材料と仕上がりは、関連するオーストラリアの基準と、関連する建築当局の細則および条例に従って実施されるものとします。
- 6.Gこれらの図面に示されているすべての寸法は、設置業者によって現場で検証されるものとします。図面の拡大縮小は実施されません。
- 7.G現場での作業を開始する前に、請負業者はエリア内のすべてのサービスの位置を確認し、建設がこれらのサービスのいずれにも干渉しないことを確認するものとします。
- 8.G現場での設置中、小屋構造は安定した状態に維持され、部品に過度のストレスがかかったり、永久に変形したりすることはありません。
- 9.G設置小屋が設置マニュアルと矛盾する方法で設置された状況では、構造認証は無効となります。
- 10.Gこの設置マニュアルに詳述されている構造コンポーネントは、クラス10a、タイプ2構造に基づいて、AS / NZS1170に従って次の負荷用に設計されています。
 - Roof Live Load: 0.25 kPa uniformly distributed or 1.1 kN concentrated as per AS/NZS1170.1
 - Wind Load: Classification N2, Non-Cyclonic to AS4055 where $V_u = 40$ m/s, $V_s = 26$ m/s
 - Windward wall $C_{p,e} = 0.7$
 - Leeward Wall $C_{p,e} = -0.3$ to -0.5 as applicable based on shed geometry
 - Side Wall $C_{p,e} = -0.2$ to -0.65 as applicable based on shed geometry
 - Roof $C_{p,e} = -0.3$ to -1.04 depending on wind direction

Absco Large Gable Roof Shed Notes

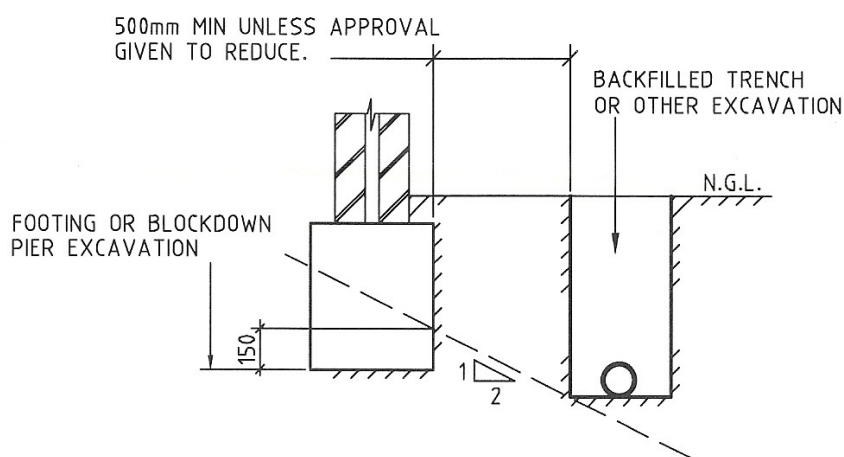
Steelwork

- 1.Sすべての鉄骨構造には、AS / NZS 2312-2014に準拠した防食システムが適用されます。
- 2.Sこの設置マニュアルに詳述されているすべての構造用鉄骨構造は、最小グレードでなければなりません。ロール成形セクション（屋根と壁のシーティング、およびポータルフレーム部材を含む）の場合は550、アングルセクションの場合はグレード250。
- 3.S支持する鉄筋コンクリートスラブに接続するためのすべての多目的ブラケットおよびアンカーブラケット（45x45x3EA x 長さ34mm、47x47x1.9EA x 長さ80mmを含む）は、最小グレード450でなければなりません。
- 4.Sすべてのポータルフレームのニープレートとアベックスプレートは、最小グレード450でなければなりません。
- 5.Sすべての屋根および壁シートは、ベース金属の厚さが0.3mm以上であるものとします。
- 6.Sすべてのポータルフレーム部材は、0.75mmの最小ベース金属厚でなければなりません。
- 7.Sすべてのスナップタイトチャンネルとジャムは、0.42mmの最小ベース金属厚でなければなりません。
- 8.Sすべてのシルクハットは、1.0mmの最小ベースメタル厚でなければなりません。
- 9.Sすべてのポータルフレームのニープレートとアベックスプレートは、1.0mmの最小ベース金属厚でなければなりません。
- 10.Sすべてのネジ留め具は、Phil Pan Head亜鉛めっき #8 x 3/4" (STP0820) でなければなりません。
- 11.S固定用のすべてのボルト留め具はM10最低グレード4.6 / Sでなければなりません。
- 12.Sネジ留め具の取り付けは、一般にAS1562の関連規定に従って行われます。

Absco Large Gable Roof Shed Notes

Supporting Slab and Foundations

- 1.F庭小屋の支持スラブ基礎は、設置マニュアルに示されている最小サイズのものでなければなりません。形成されたスラブの上面は水平で、小屋の設置を妨げるような凹凸がないものでなければなりません。
- 2.F支持スラブ基礎の構造工学設計は、適切な資格のある構造技師が行うものとする。設計では、AS3600およびAS2870のすべての関連規定を考慮するものとします。
- 3.F隣接するフーチングまたは掘削の間で、スラブ基礎を設置する請負業者は、勾配を水平2に対して高さ1より急にしてはなりません。
- 4.Fスラブ基礎技術者によって書面で承認されない限り、既存のフーチングの近くの掘削の制限は、以下に示されたものに従うものとする。



請負業者は、既存のフーチングの近くを掘削する前に、それらの深さを確認するために調査的な局所掘削を行うものとします。エンジニアの書面による承認なしに、上記の深さより深く掘り下げることができません。

Absco Sheds Storage Guidelines

- Absco Shedsは、通常の気象条件で耐候性があるように設計されています。大雨などの極端な気象条件と強風の突風が発生した場合、尾根のキャッピング、シーティング接合、ネジ固定などにより、わずかな変形が発生し、水が浸入する可能性があります。最大の強度と保護が維持されるように、これらの領域を定期的にチェックする必要があります。
- 極端な暑さや極端な寒さ、湿った空気、乾燥した空気などの他の気象条件は、コンクリートの床の水分や屋根シートの下側の結露の影響に影響する可能性があります。
- Absco Shedsおよびストレージユニットは、主に芝刈り機、手押し車、ガーデンツールなどのガーデン機器の保管に使用されます。上記の条件のいずれかによって悪影響を受ける可能性のある保管アイテムには、密封やプラスチックシートでの覆い、木材スラットでコンクリート床の上に積み上げるなどの追加の保護が必要な場合があります。
- ほとんどのハードウェアアウトレットから入手できるゴム製のドアシールやその他の製品と同様に、防水シーラントを使用して、接合部やネジ止めの周囲で必要な場合にさらなる保護を提供できます。
- 小屋の底面とコンクリートスラブの間に防水シーラント（シリコーン）を配置することは推奨されません。このプロセスは逆の効果があり、余分な水が漏れることを防ぎ、水が小屋の内部に溜まって閉じ込められるためです。
- Abscoは、前述の気象条件のいずれかから生じる水の浸入、床の水分、結露、またはAbsco鋼製建物内のコンテンツの状態について一切責任を負いません。
- Abscoは、悪天候時にドアが開いたまま、または固定されていなかった場合の構造的損傷について一切責任を負いません。

設置後のお手入れ

穴あけやTekネジによって生じた鉄の切りくずを、完成品から取り除いてください。

取り除かないと、表面の変色や腐食の原因になる場合があります。

詳細については保証を参照してください



長野県茅野市米沢3097-10



JPN: 0120-82-5817



info@eeplan.co.jp
www.eeplan.co.jp